

大学とNPOの 協力に関する調査 実施結果 (大学の回答)

群馬県 生活こども部 県民活動支援・広聴課

令和7年3月

I. アンケート調査の実施概要・・・4

II. 実施結果・・・6

- Q1.学生数
- Q2.社会貢献活動・地域連携を実施していますか。
- Q3.職員・学生が個人で行う社会貢献活動を支援していますか。
- Q4.職員・学生が個人で行う社会貢献活動への支援は、どのような方法で行っていますか。
- Q5.NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識されていますか。
- Q6.NPOに対するイメージをお答えください。
- Q7.NPOに関する情報をどこから入手していますか。
- Q8.NPO(NPOの活動)に期待することは何ですか。
- Q9.過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはありますか。
- Q10.NPOへの協力は、どのような内容でしたか。
- Q11.NPOと協力した理由は何ですか。
- Q12.NPOと協力したきっかけは何ですか。
- Q13.NPOとの協力において、どのような立場の人がコーディネートを行いましたか。
- Q14.NPOとの協力において、どのような場面でコーディネーターが関わりましたか。
- Q15.NPOとの協力に対する評価として、どのようなものがありますか。
- <Q16、Q17、Q18は省略>
- Q19.NPOと協力したことがない理由は何ですか。
- Q20.NPOと協力するにあたって、【NPOに求めること】は何ですか。
- Q21.NPOのどのような情報があれば、協力しやすいと思いますか。
- Q22.NPOと協力するにあたって、【行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割】は何ですか。
- Q23.今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思いますか。
- Q24.どのような活動分野のNPOと協力してみたいですか。
- Q25.NPOと協力する場合に【貴学から提供できる資源】は何ですか。
- Q26.NPOと協力する場合に【NPOに期待する役割】は何ですか。
- Q27.貴学の理念と関係するSDGs(持続可能な開発目標)のゴールはどれですか。
- Q28.貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用していますか。

III. クロス分析・・・32

- 1. 学生数 × 社会貢献活動・地域連携を実施しているか
- 2. 学生数 × 職員・学生が個人で行う社会貢献活動を支援していますか
- 3. 学生数 × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか
- 4. 学生数 × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか
- 5. 社会貢献活動・地域連携を実施しているか × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか
- 6. 社会貢献活動・地域連携を実施しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか
- 7. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか
- 8. NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか
- 9. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか
- 10. 学生数 × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか
- 11. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか
- 12. 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

アンケート調査の実施概要

| | |
|--------|---|
| 目的 | 群馬県内のNPOと企業・大学との協力の現状と課題を把握し、協働による地域づくりの推進に係る施策を検討する |
| 調査対象 | 群馬県内の大学 |
| 調査方法 | ■依頼方法 ぐんま地域・大学連携協議会構成大学にメール送付（17大学。短大含む。） ■回答方法 「ぐんま電子申請受付システム（LoGoフォーム）」を利用 |
| 有効回答数 | 11（回収率64.7%） |
| 調査期間 | 2024年10月9日から11月8日まで |
| 調査項目 | 最大27問 社会貢献活動・地域連携の実施の有無、NPO に対する認識、過去3年間にNPOと協力した取り組みの有無とその内容、NPO と協力する上でNPO に求めること等。 |
| 集計表の見方 | <ul style="list-style-type: none">● 本文に使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。● 百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示した。そのため、単数回答（1つだけ選ぶ設問）の百分率（%）の合計が、100%にならない場合がある。● 複数回答（2つ以上選ぶことができる設問）は、百分率（%）の合計が100.0%を超える場合がある。 |

この調査に出てくる言葉について

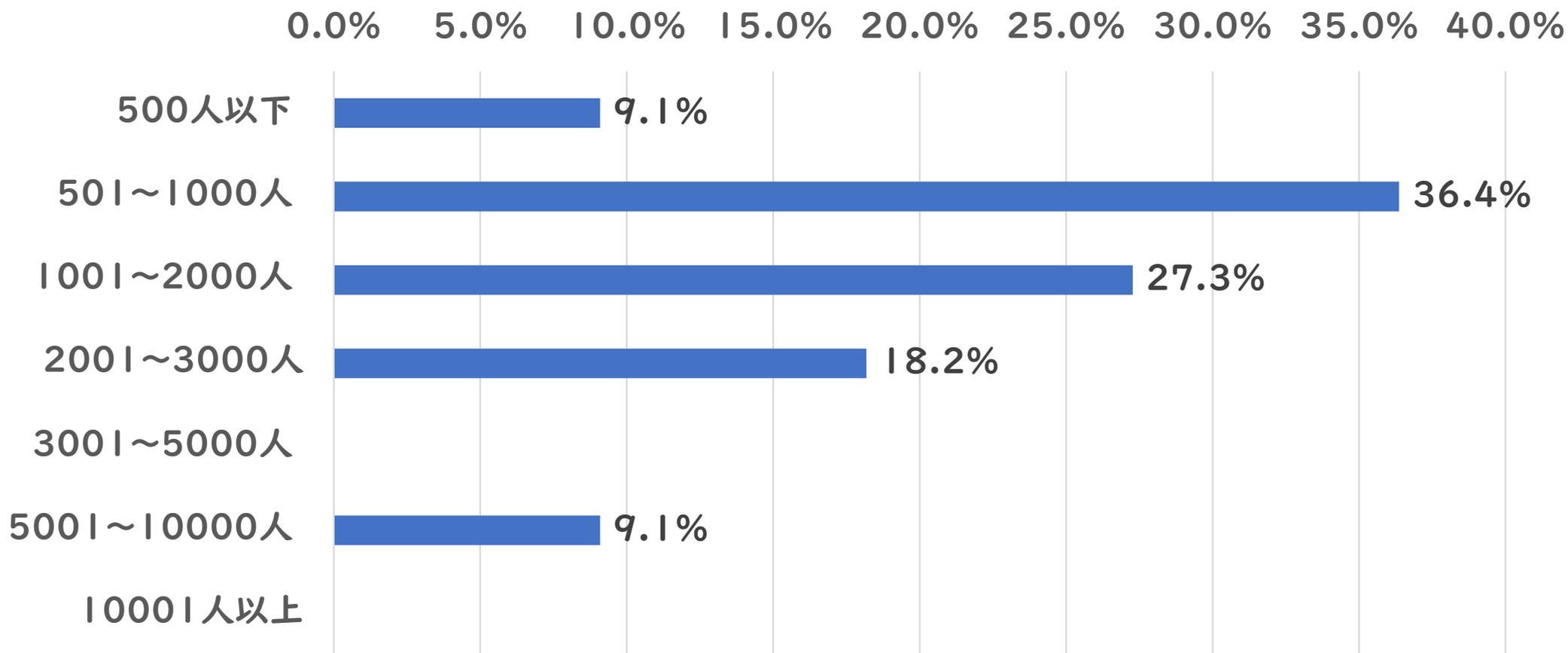
| | |
|---------|--|
| NPO | 社会や地域のために自主的な活動をしている民間の団体。特定非営利活動法人（NPO法人）のほか、法人格を持たないボランティア団体・市民活動団体、公益社団・公益財団法人、非営利型の一般社団・一般財団法人も含まれます。 |
| 協力 | 複数の主体が力を合わせて事に当たること。事業の共同実施、業務委託、物品や資金の寄附・協賛、イベント出展、講師の派遣・依頼、広報協力など、幅広い内容を指します。公共的な課題を解決することを共通の目的として、相互理解のもと、対等な立場で役割分担しながら共に活動する「協働」も、この中に含まれます。 |
| コーディネート | 人や団体の間に立って、連絡調整や情報提供、助言をすること。協力相手や参考事例を紹介する、打ち合わせに同席するなど、協力が上手くいくように関わること。 |

Ⅱ 実施結果

大学

Q1. 学生数

【n=11】

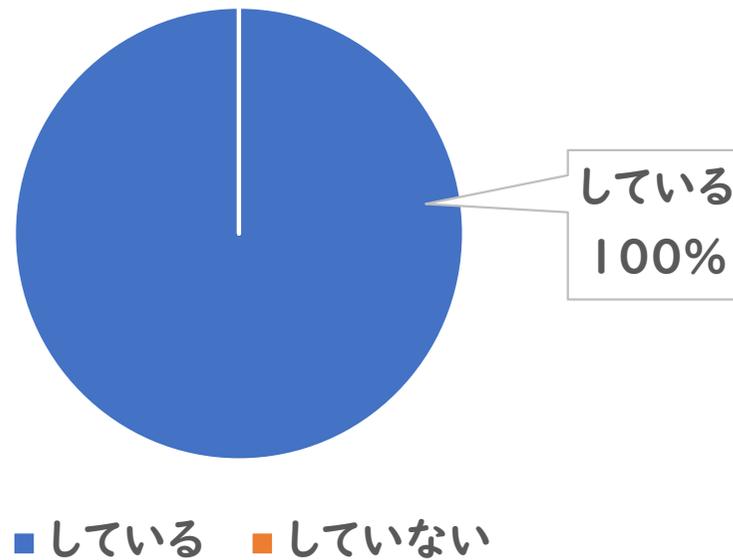


回答した大学の中では、学生数は「501人から1000人」が最も多い。

大学

Q2.社会貢献活動・地域連携を実施していますか。(1つ選択)

【n=11】

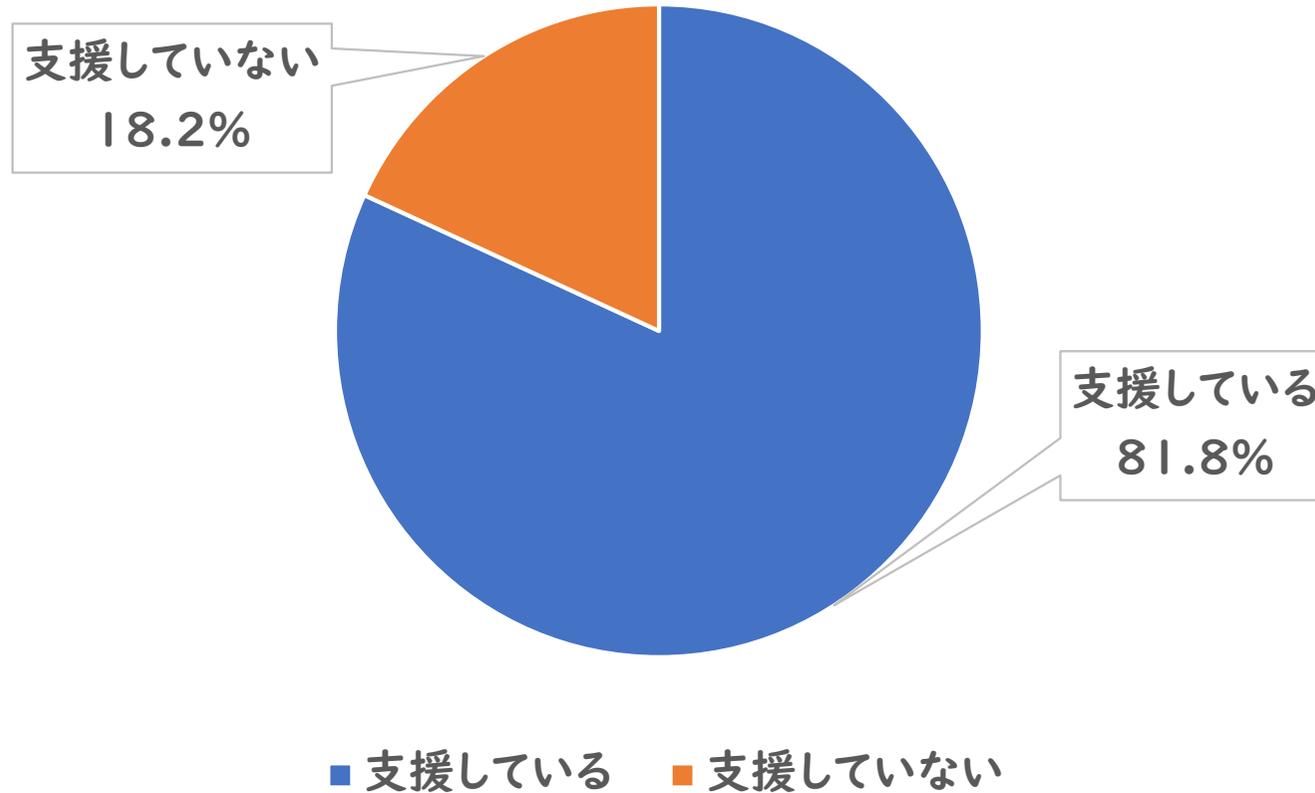


社会貢献活動・地域連携を「実施している」との回答が100%である。

大学

Q3.職員・学生が個人で行う社会貢献活動を支援していますか。(1つ選択)

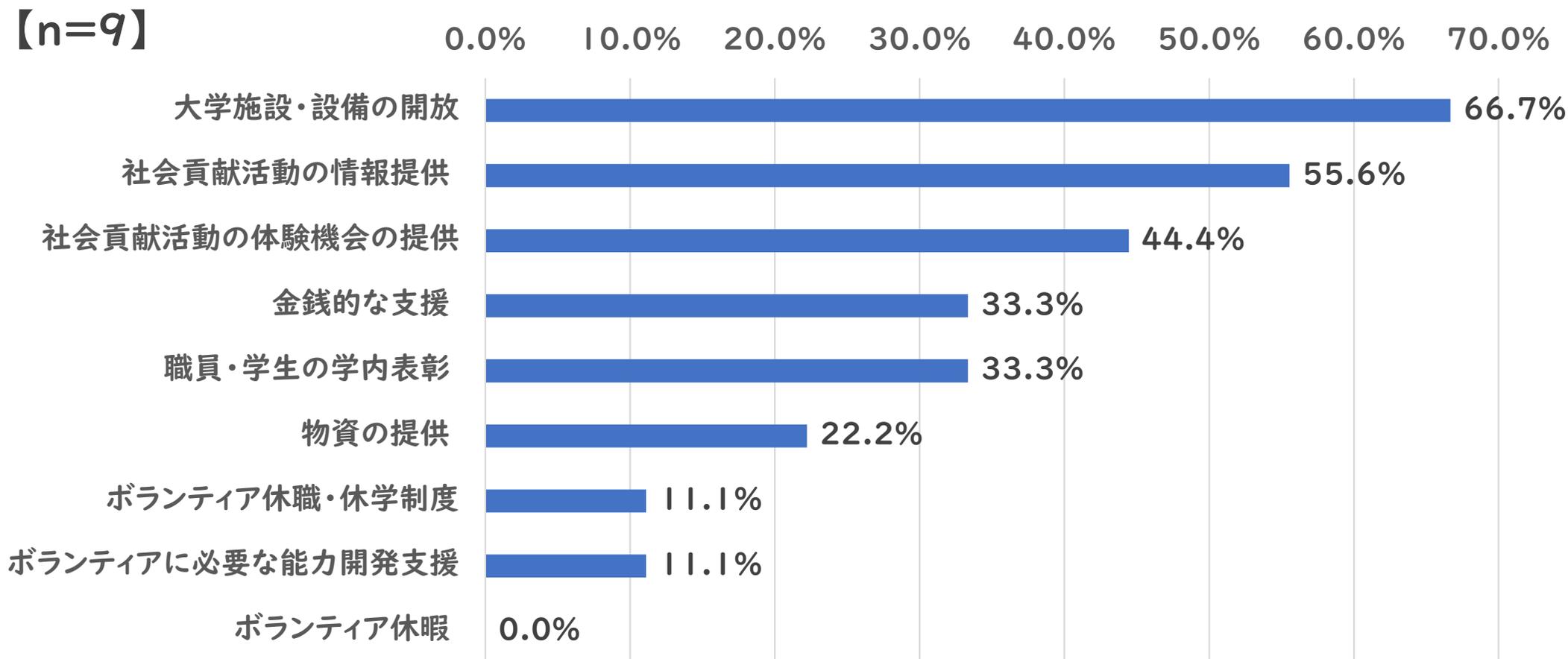
【n=11】



職員・学生が個人で行う社会貢献活動を「支援している」との回答が81.8%が多い。

大学

Q4.職員・学生が個人で行う社会貢献活動への支援は、どのような方法で行っていますか。(複数選択可)

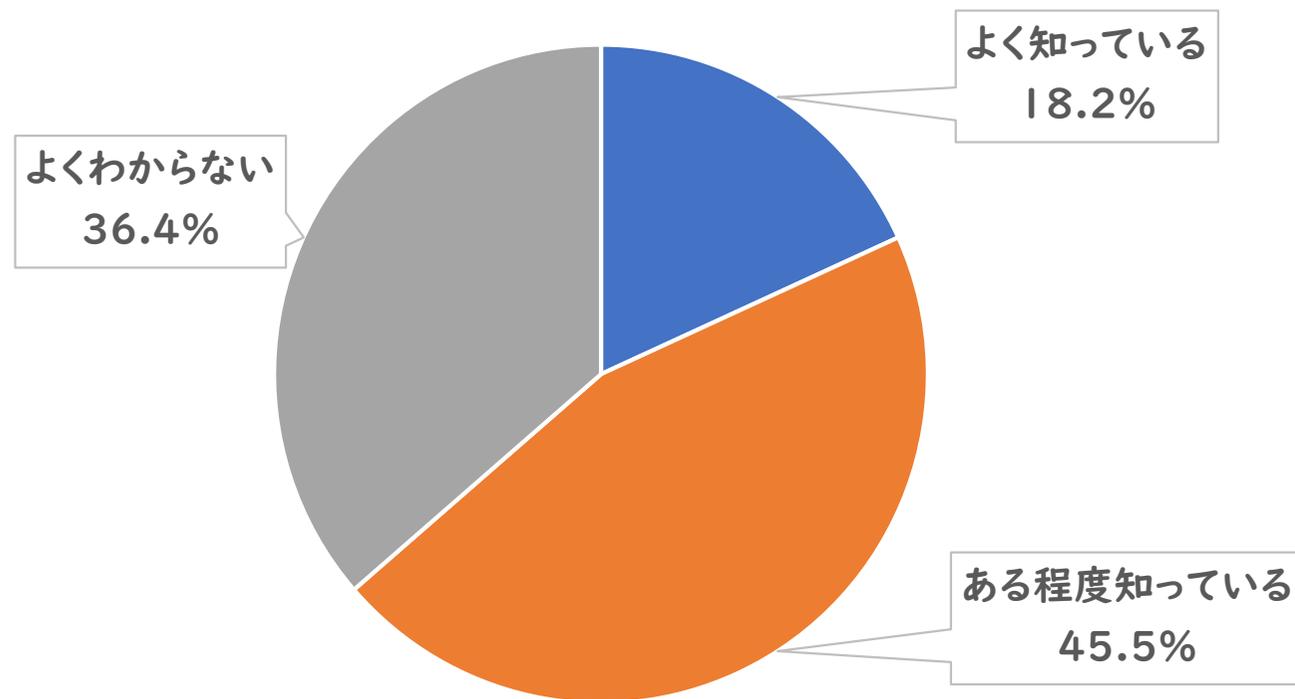


職員・学生が個人で行う社会貢献活動への支援の方法は、「大学施設・設備の開放」が66.7%で最も多く、次いで「社会貢献活動の情報提供」が55.6%、「社会貢献活動の体験機会の提供」が44.4%である。

大学

Q5.NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識されていますか。(1つ選択)

【n=11】



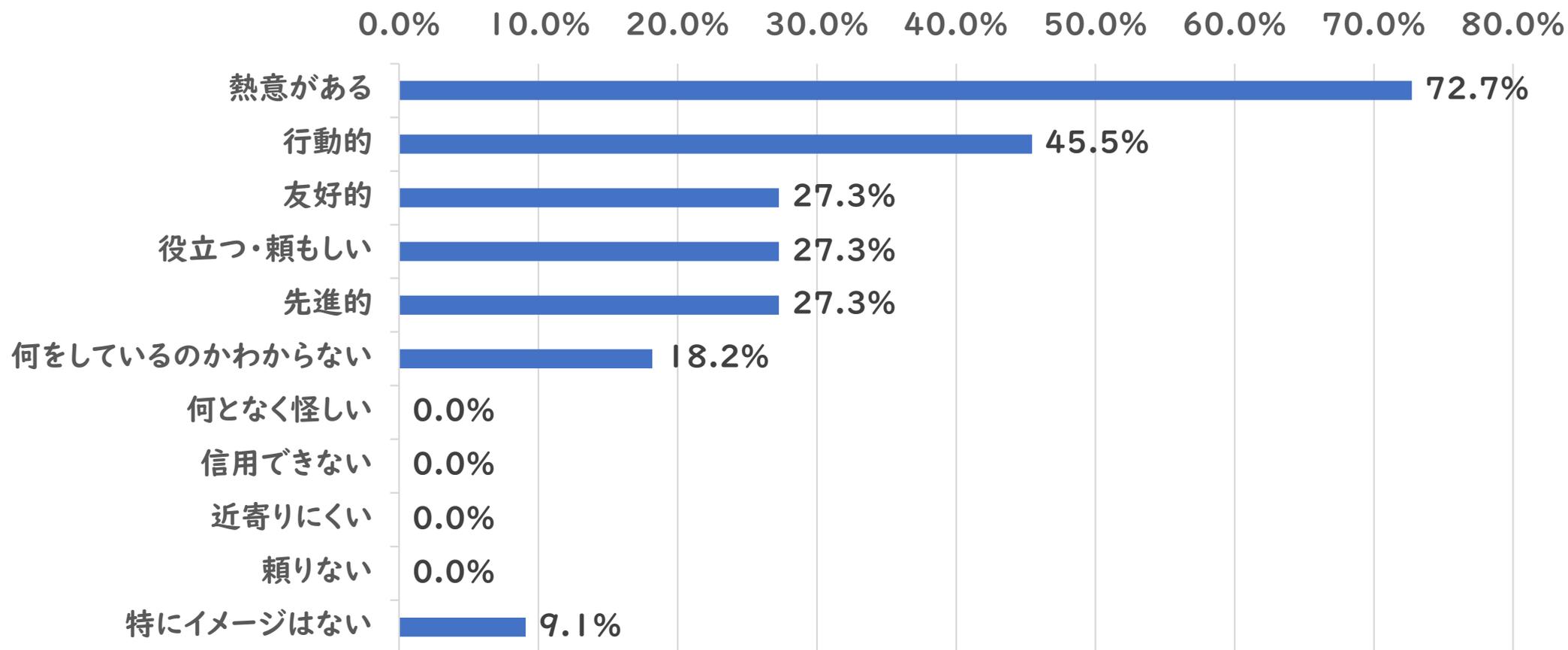
■ よく知っている ■ ある程度知っている ■ よくわからない ■ まったくわからない

NPOの活動分野や活動内容等についての認識は、「ある程度知っている」が45.5%で最も多く、「よく知っている」の18.2%と合わせて「知っている」が63.7%である。

大学

Q6.NPOに対するイメージをお答えください。(複数選択可)

【n=11】

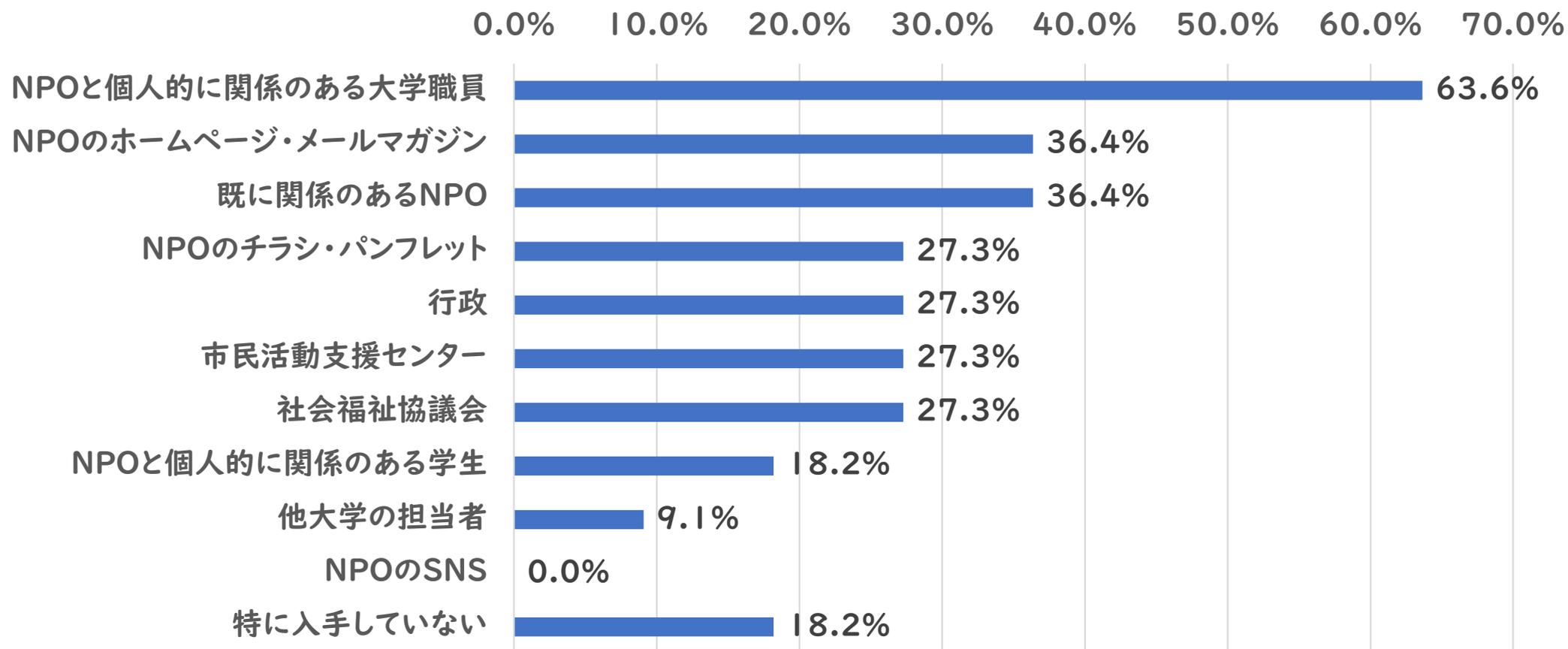


NPOに対するイメージは、「熱意がある」が72.7%で最も多く、次いで「行動的」が45.5%である。一方で「何をしているかわからない」が18.2%ある。

大学

Q7.NPOに関する情報をどこから入手していますか。(複数選択可)

【n=11】

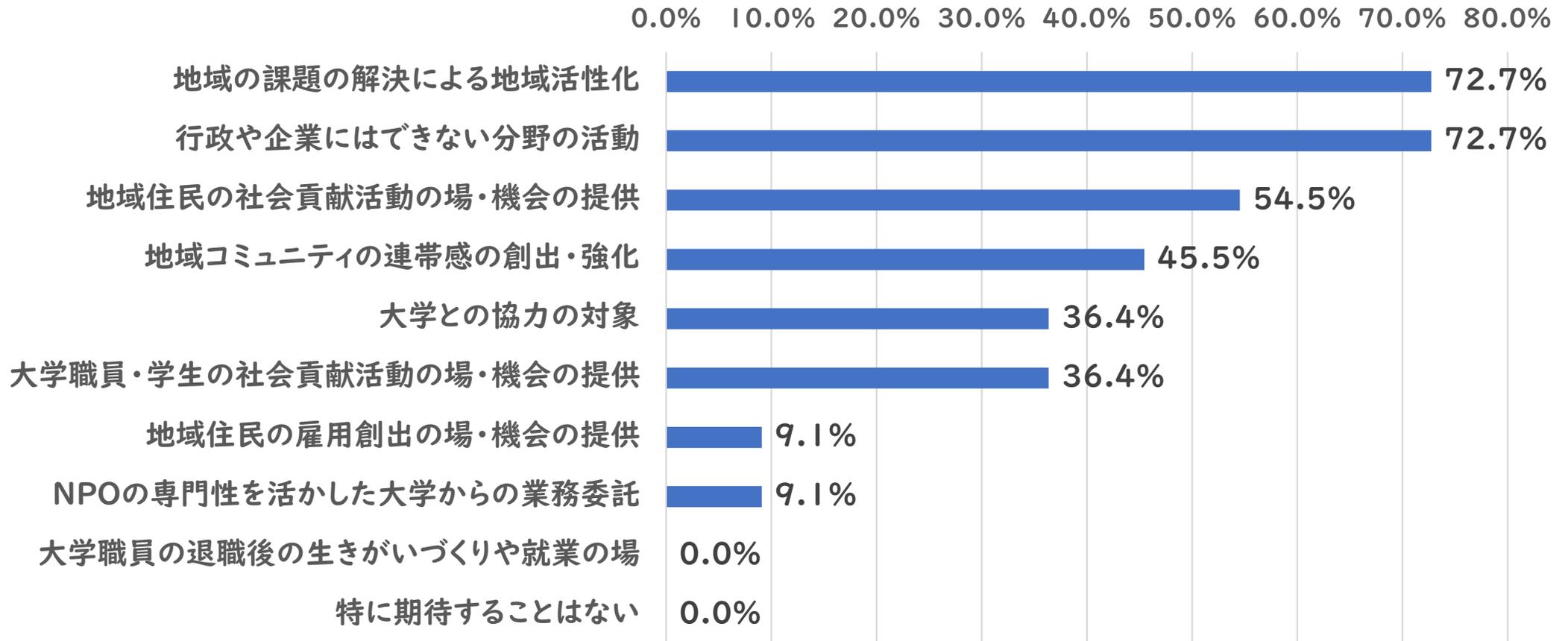


NPOに関する情報の入手は、「NPOと個人的に関係のある大学職員」が63.6%と最も多く、次いで「NPOのホームページ・メールマガジン」「既に関係のあるNPO」が36.4%である。一方で「特に入手していない」が18.2%ある。

大学

Q8.NPO (NPOの活動) に期待することは何ですか。(複数選択可)

【n=11】

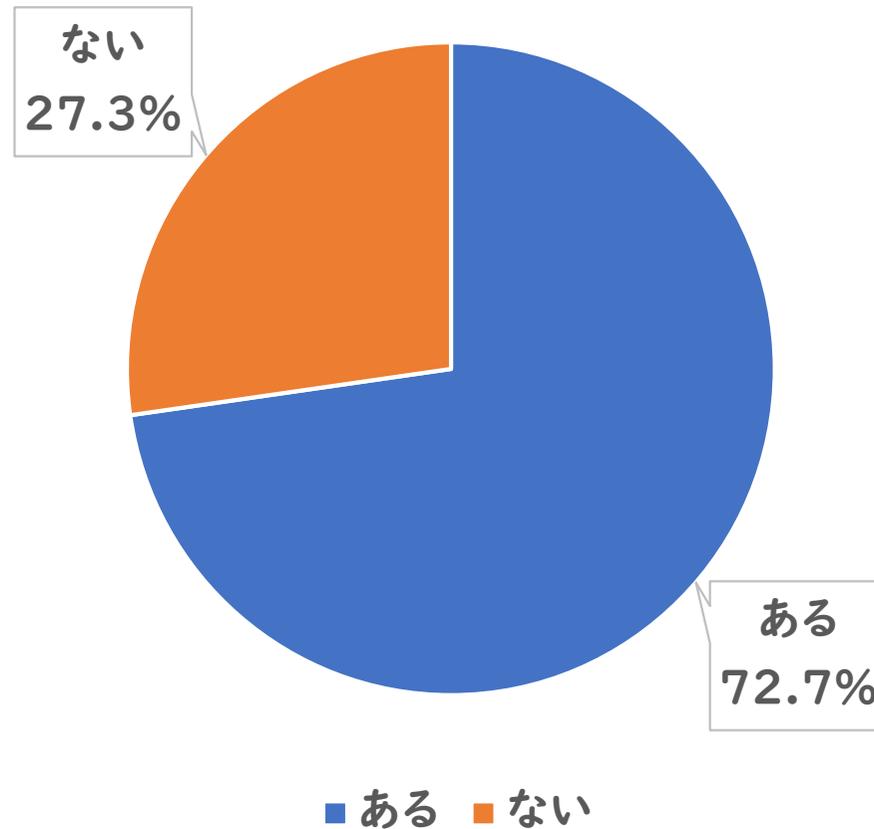


NPO (NPOの活動) に期待することは、「地域の課題の解決による地域活性化」「行政や企業にはできない分野の活動」が72.7%で最も多く、次いで「地域住民の社会貢献活動の場・機会の提供」が54.5%である。

大学

Q9.過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはありますか。(1つ選択)

【n=11】

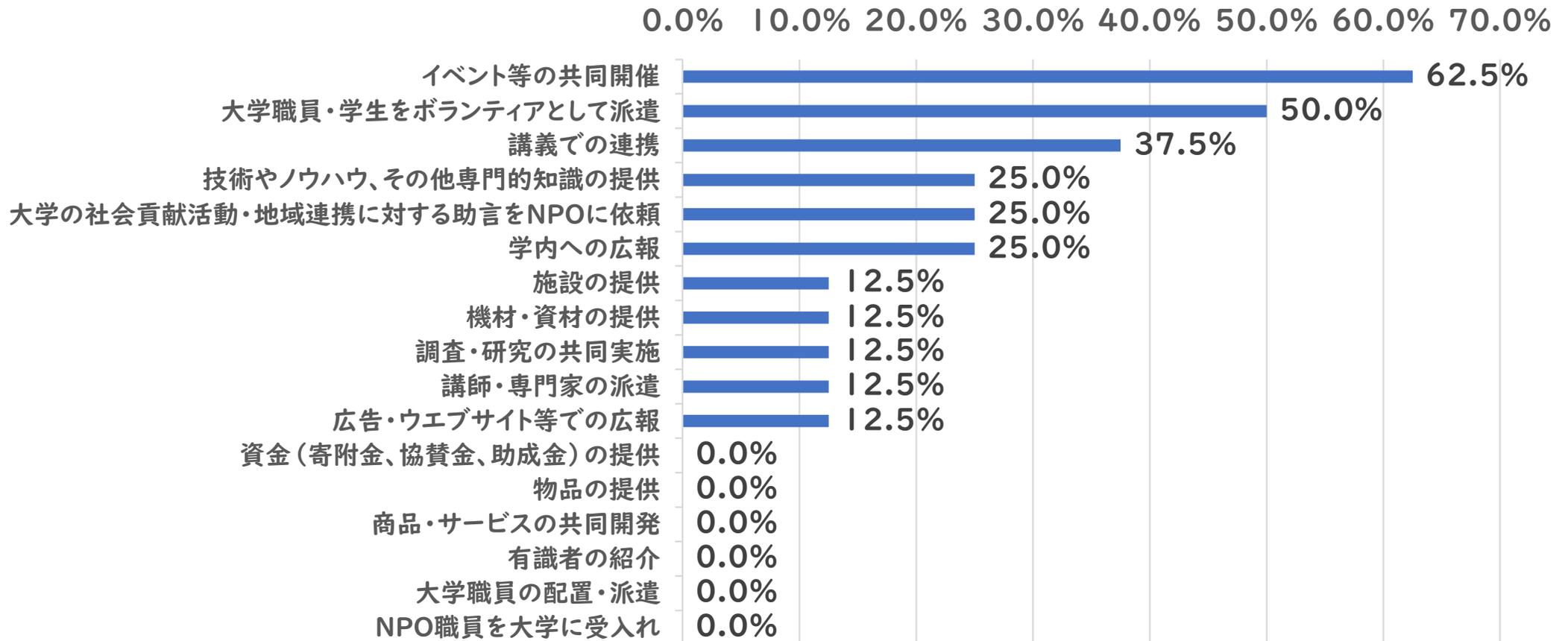


群馬県内のNPOと協力が「ある」との回答が72.7%で多い。

大学

Q10.NPOへの協力は、どのような内容でしたか。(複数選択可)

【n=8】

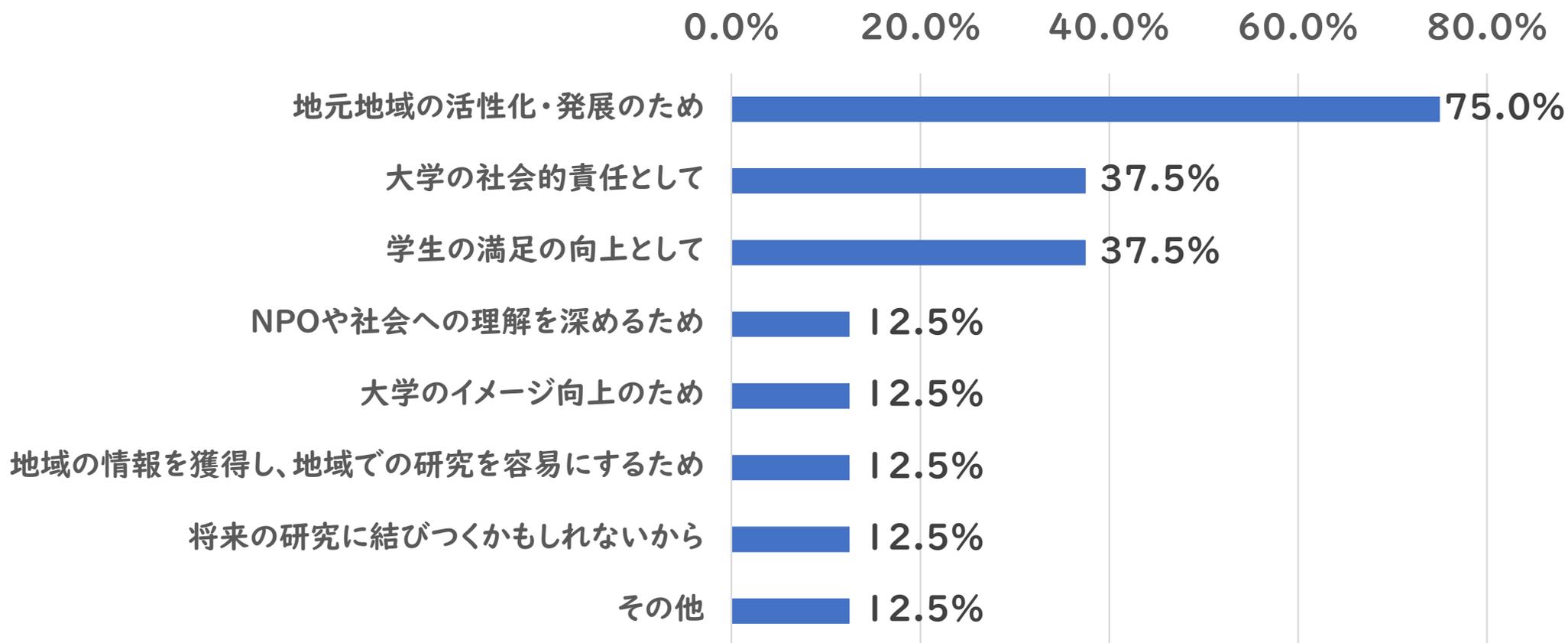


NPOへの協力の内容は、「イベント等の共同開催」が62.5%で最も多く、次いで「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が50.0%、「講義での連携」が37.5%である。

大学

Q11.NPOと協力した理由は何ですか。(複数選択可)

【n=8】

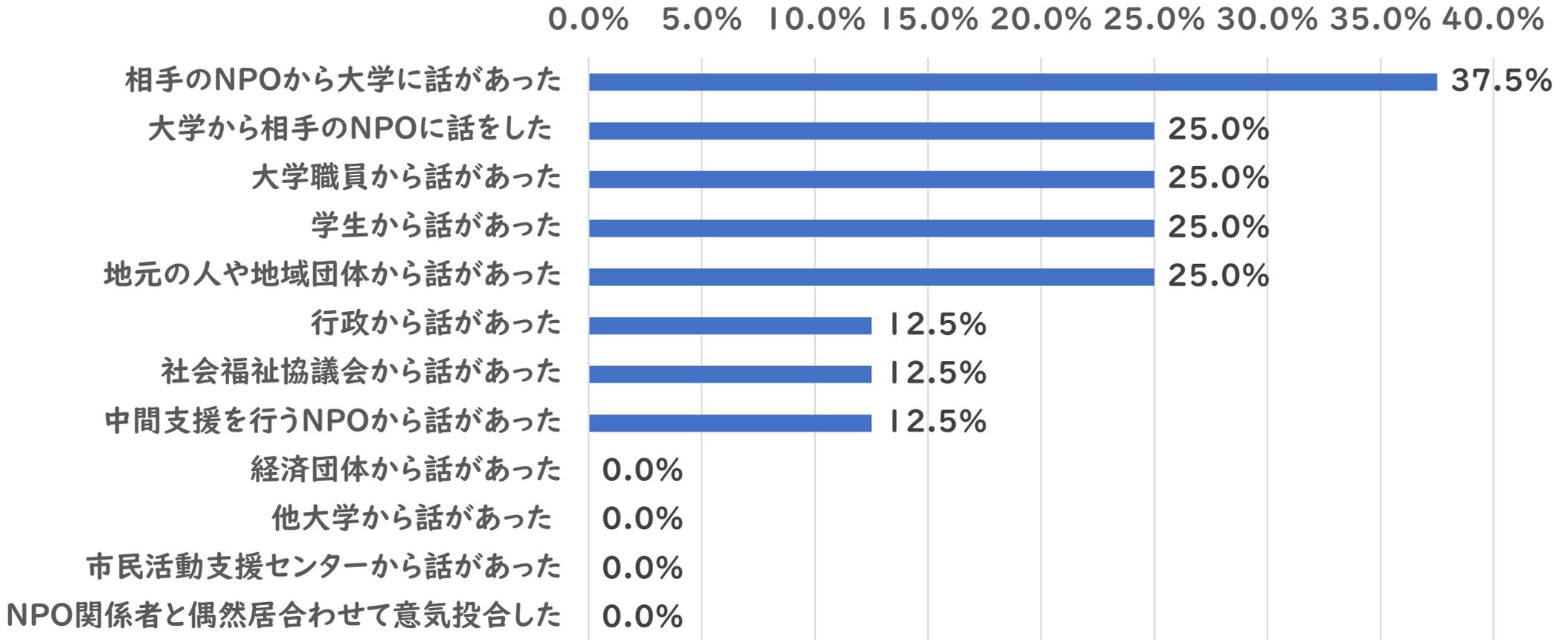


NPOと協力した理由は、「地元地域の活性化・発展のため」が75.0%で最も多く、次いで「大学の社会的責任として」「学生の満足度の向上として」が37.5%である。

大学

Q12.NPOと協力したきっかけは何ですか。(複数選択可)

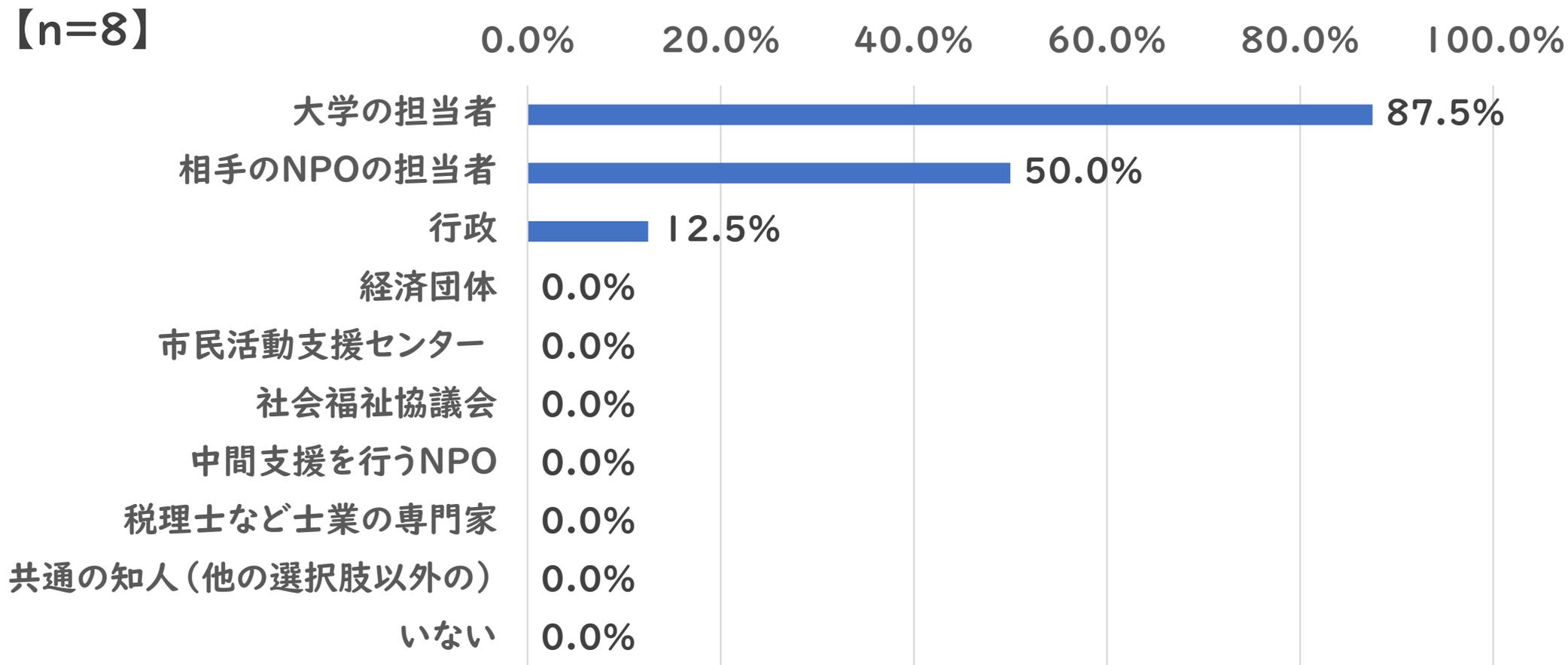
【n=8】



NPOと協力したきっかけは、「相手のNPOから大学に話があった」が37.5%で最も多く、次いで「大学から相手のNPOに話をした」「大学職員から話があった」「学生から話があった」「地元の人や地域団体から話があった」が25.0%である。

大学

Q13.NPOとの協力において、どのような立場の人がコーディネートを行いましたか。
(複数選択可)



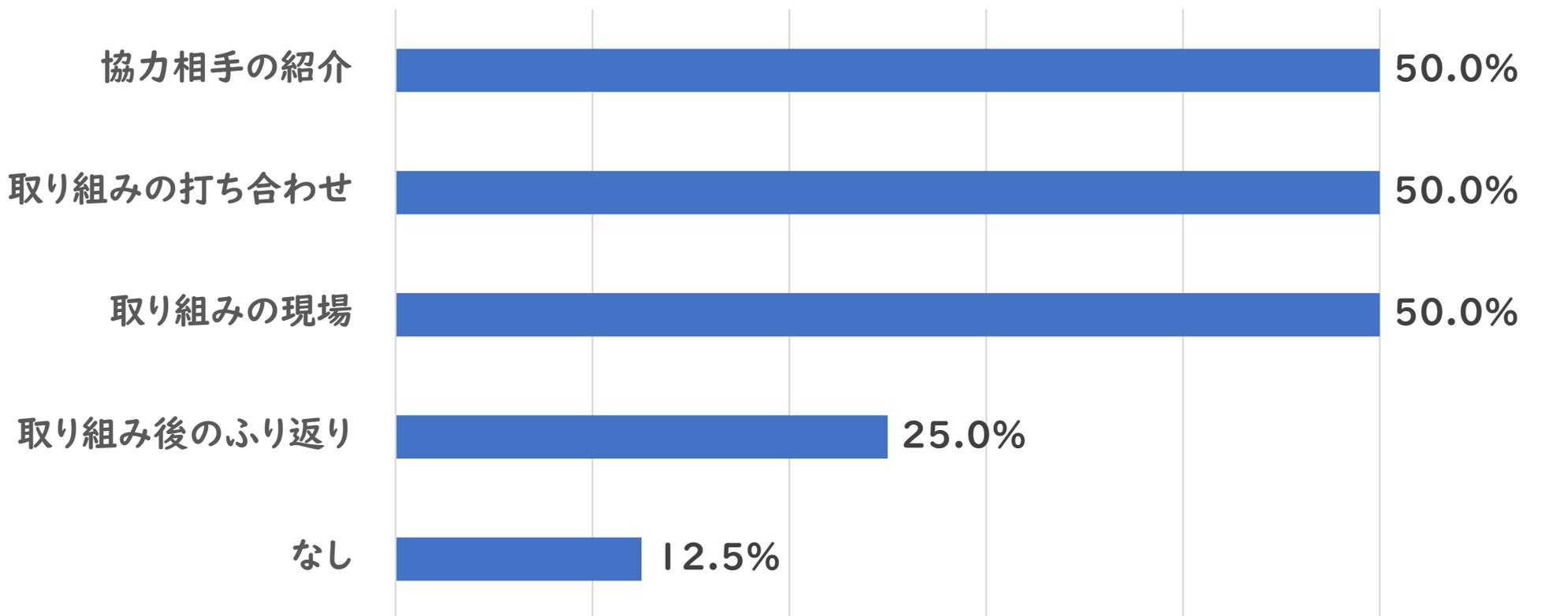
NPOとの協力においてコーディネートを行ったのは、「大学の担当者」が87.5%で最も多く、次いで「相手のNPOの担当者」が50.0%である。

大学

Q14.NPOとの協力において、どのような場面でコーディネーターが関わりましたか。
(複数選択可)

【n=8】

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0%

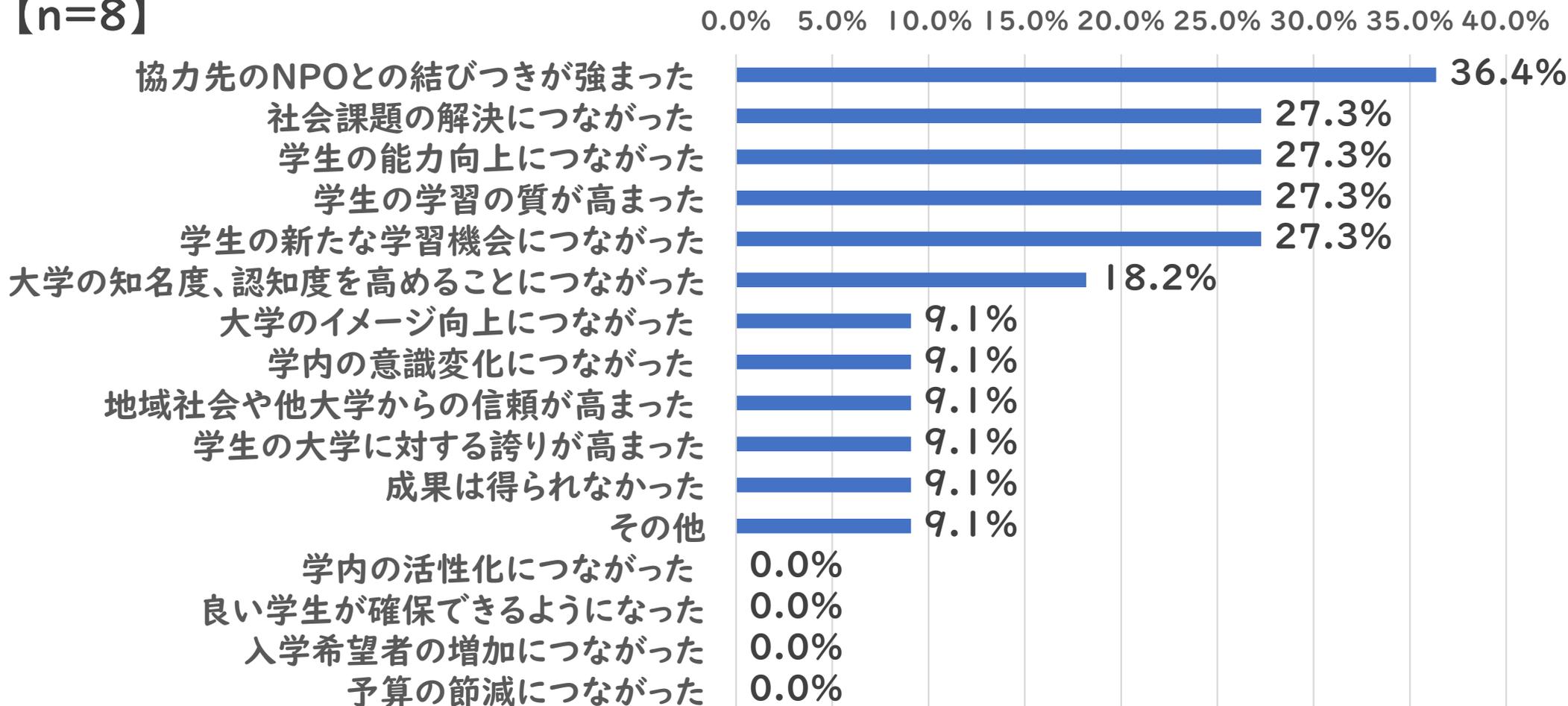


NPOとの協力においてコーディネーターが関わった場面は、「協力相手の紹介」「取り組みの打ち合わせ」「取り組みの現場」が50.0%である。

大学

Q15.NPOとの協力に対する評価として、どのようなものがありますか。(複数選択可)

【n=8】

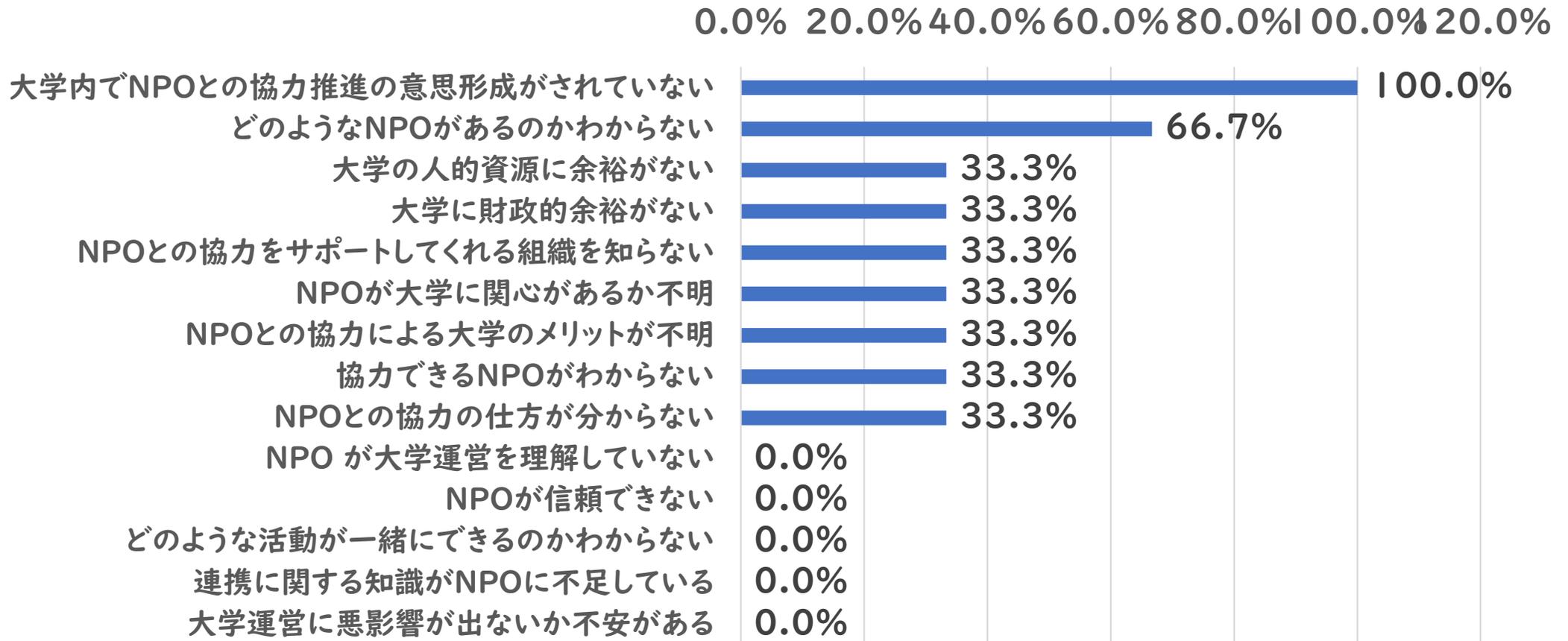


NPOとの協力に対する評価は、「協力先のNPOとの結びつきが強まった」が36.4%と最も多く、次いで「社会課題の解決につながった」「学生の能力向上につながった」「学生の学習の質が高まった」「学生の新たな学習機会につながった」が27.3%である。

大学

Q19. NPOと協力したことがない理由は何ですか。(複数選択可)

【n=3】

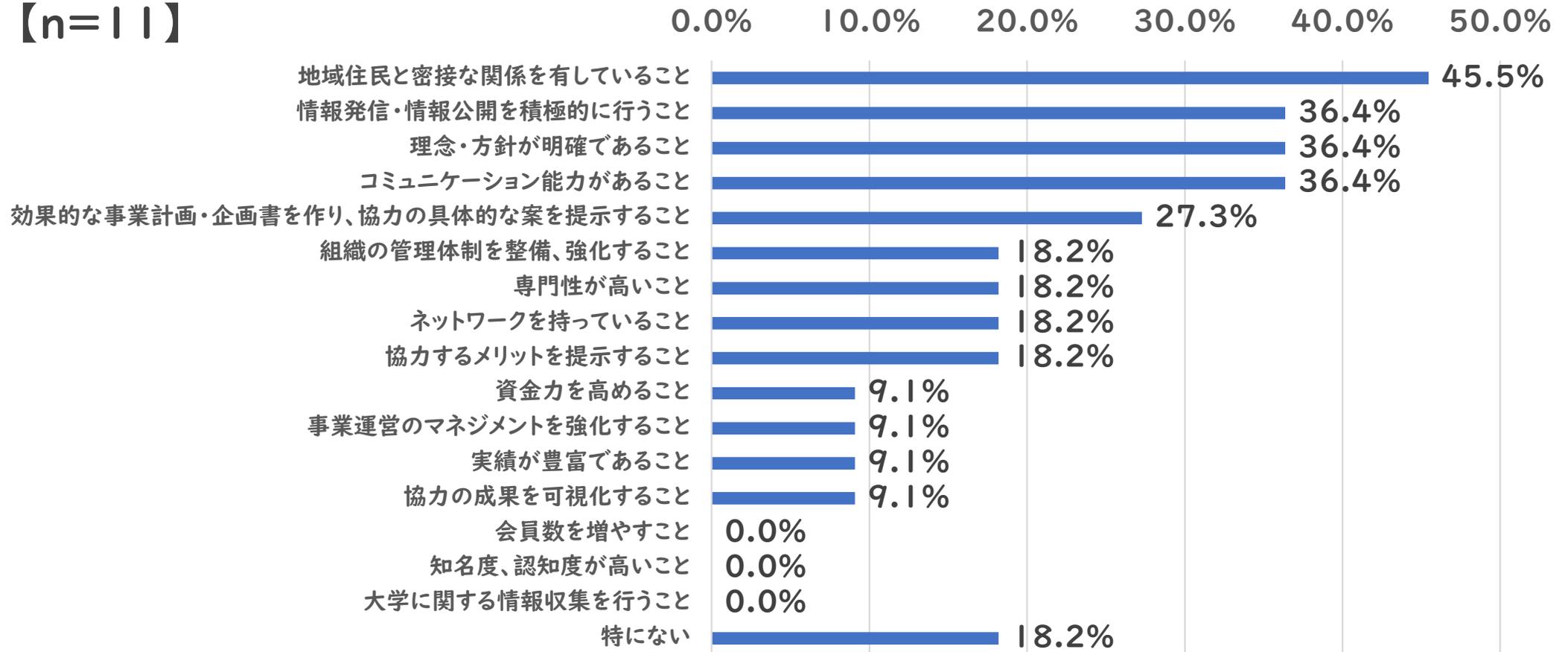


NPOと協力したことがない理由は、「大学内でNPOとの協力推進の意思形成がされていない」が100.0%で最も多く、次いで「どのようなNPOがあるのかわからない」が66.7%である。

大学

Q20.NPOと協力するにあたって、「NPOに求めること」は何ですか。(主なものを5つまで選択可)

【n=11】

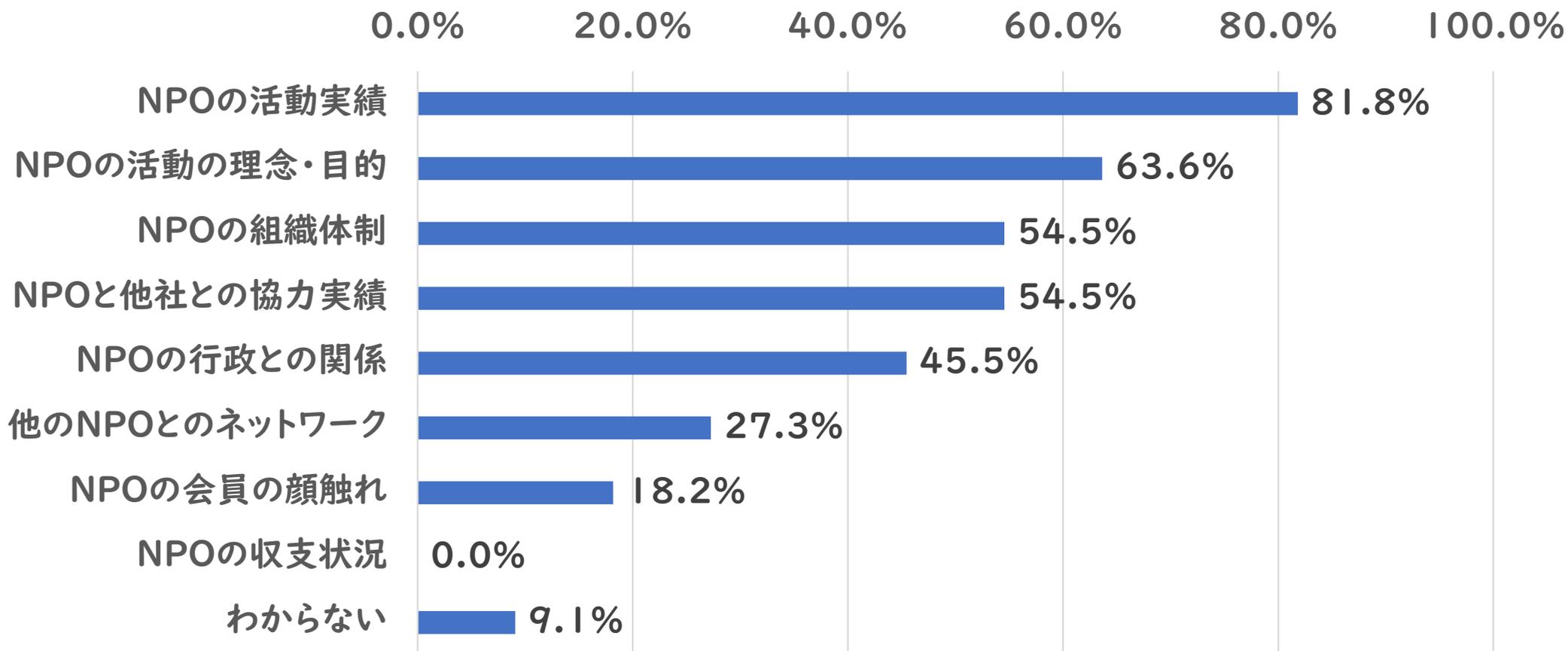


NPOに求めることは、「地域住民と密接な関係を有していること」が45.5%で最も多く、次いで「情報発信・情報公開を積極的に行うこと」「理念・方針が明確であること」「コミュニケーション能力があること」が36.4%である。

大学

Q21.NPOのどのような情報があれば、協力しやすいと思いますか。(複数選択可)

【n=11】

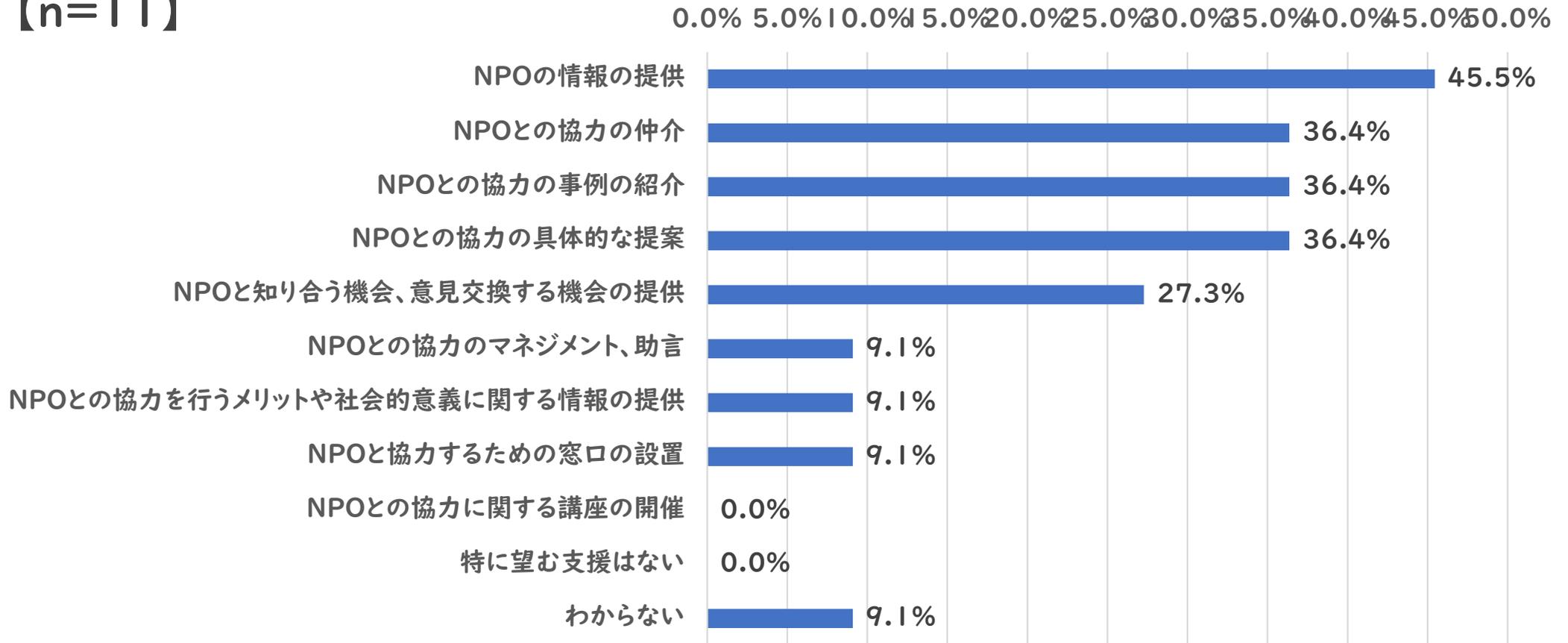


NPOと協力しやすくするために必要なNPOの情報は、「NPOの活動実績」が81.8%で最も多く、次いで「NPOの活動の理念・目的」が63.6%、「NPOの組織体制」「NPOと他社との協力実績」が54.5%である。

大学

Q22.NPOと協力するにあたって、「行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割」は何ですか。(主なもの3つまで選択可)

【n=11】

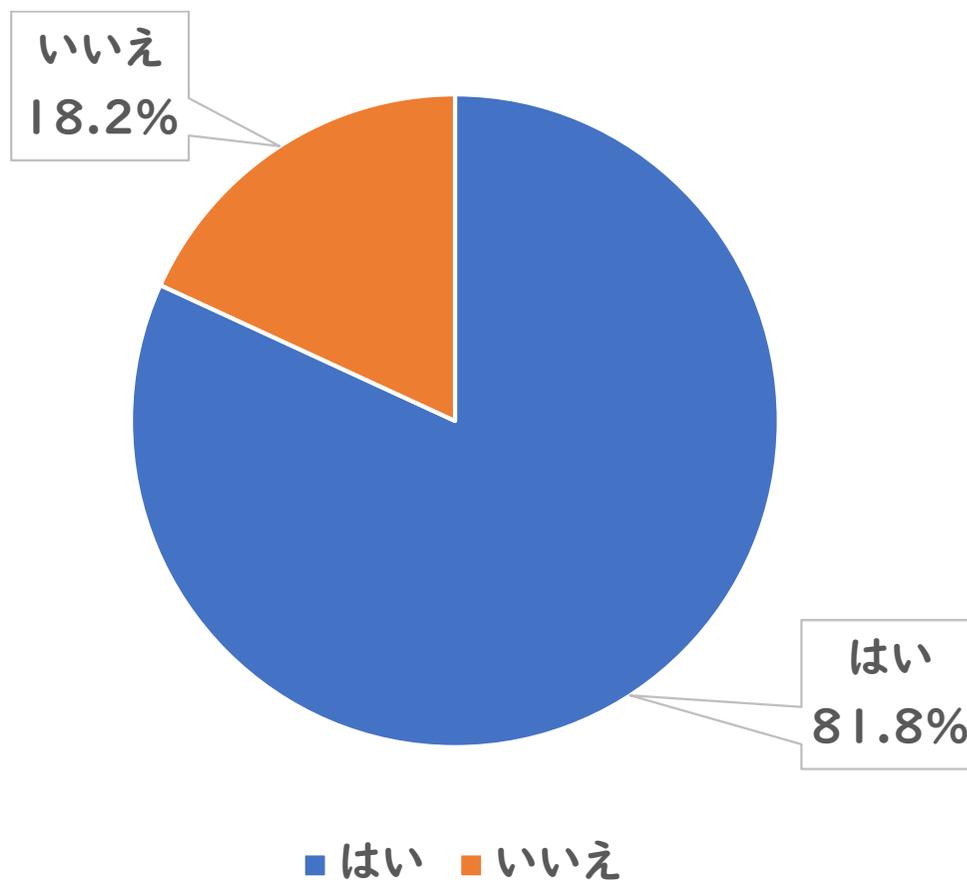


行政や市民活動センター等のコーディネートを担う組織に求める役割は、「NPOの情報の提供」が45.5%と最も多く、次いで「NPOとの協力の仲介」「NPOとの協力の事例の紹介」「NPOとの協力の具体的な提案」が36.4%である。

大学

Q23. 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思いますか。(1つ選択)

【n=11】



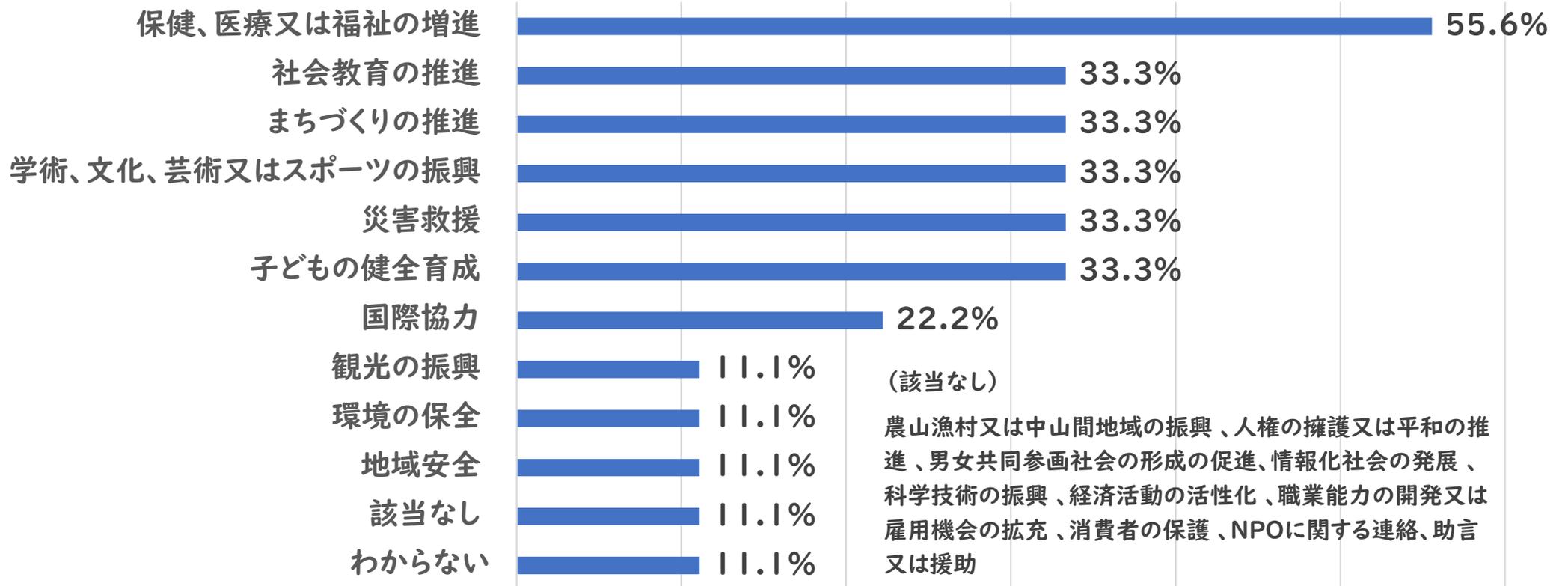
今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」が81.8%である。

大学

Q24.どのような活動分野のNPOと協力してみたいですか。(主なものを5つまで選択可)

【n=9】

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0%

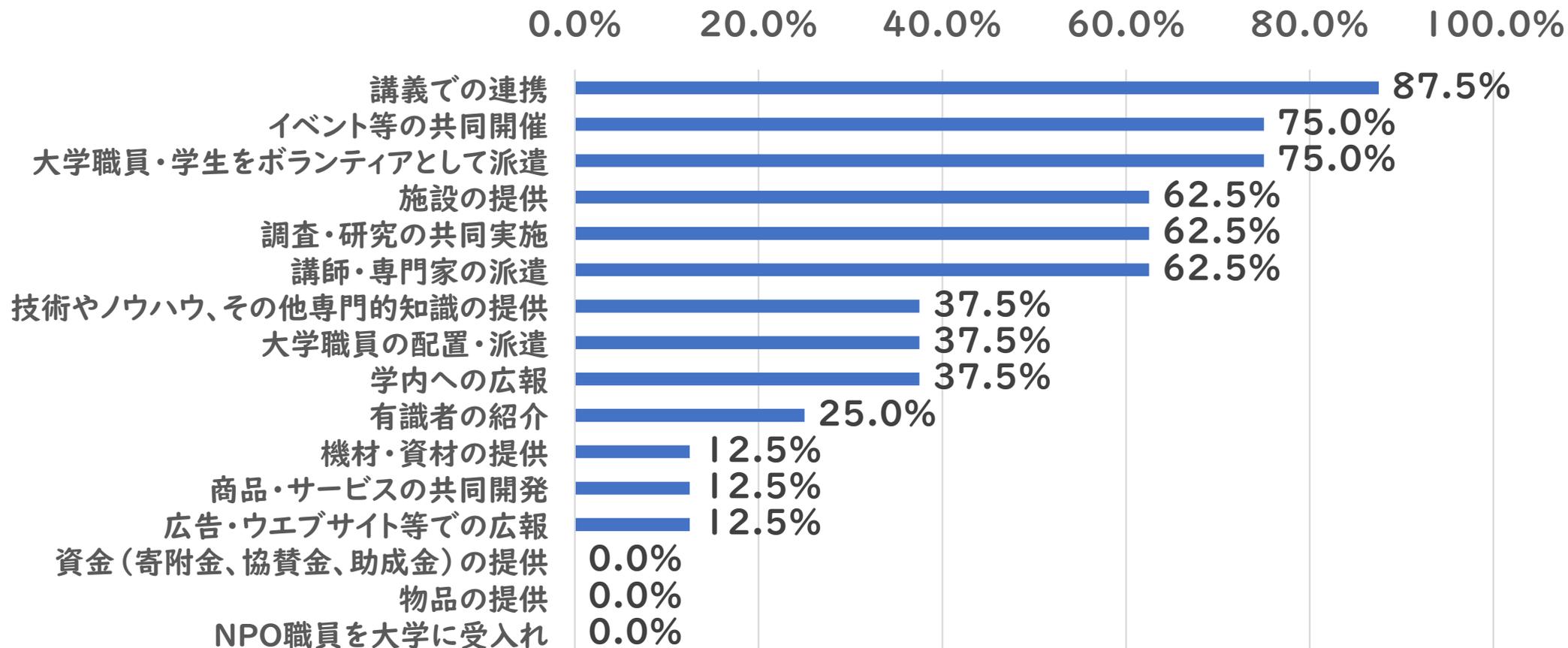


NPOとの協力で取り組みたい活動分野は、「保健、医療又は福祉の増進」が55.6%で最も多く、次いで「社会教育の推進」「まちづくりの推進」「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」「災害救援」「子どもの健全育成」が33.3%である。

大学

Q25.NPOと協力する場合に「貴学から提供できる資源」は何ですか。(複数選択可)

【n=9】

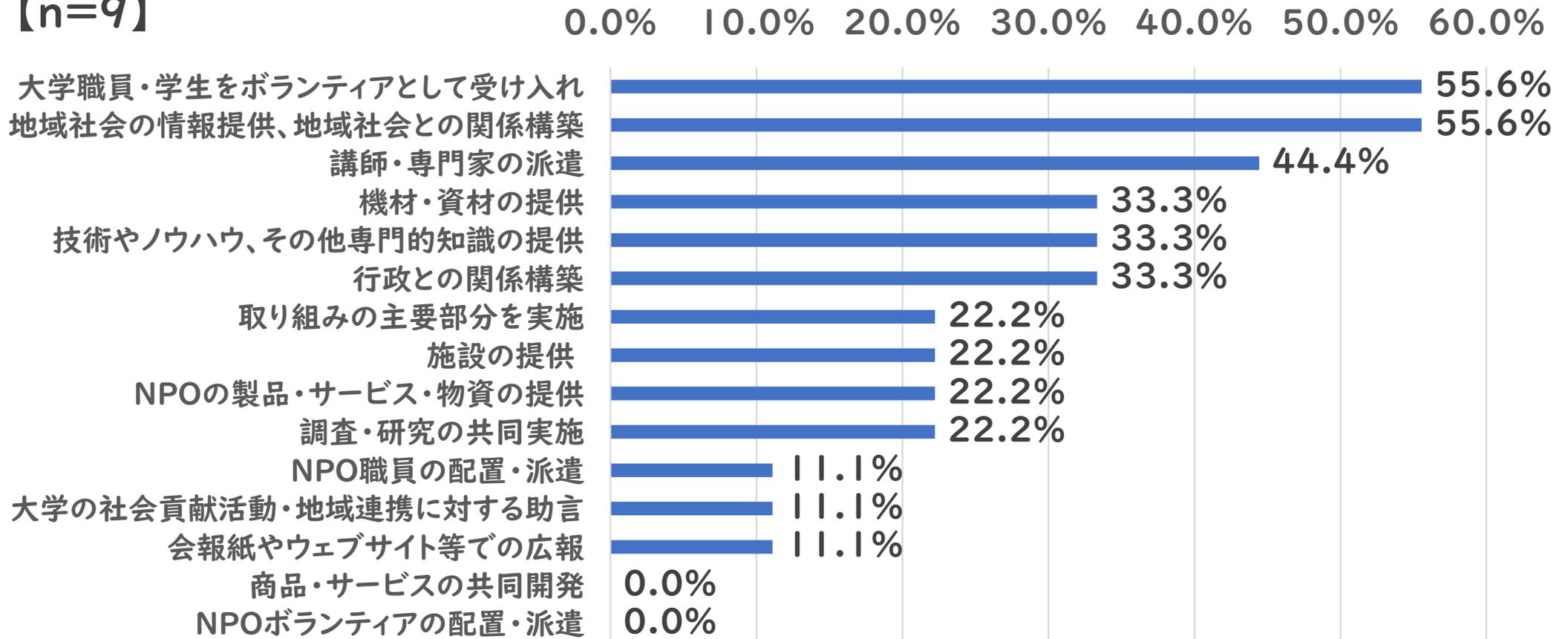


大学から提供できる資源は、「講義での連携」が87.5%で最も多く、次いで「イベント等の共同開催」「大学職員・学生をボランティアとして派遣」が75.0%、「施設の提供」「調査・研究の共同実施」「講師・専門家の派遣」が62.5%である。

大学

Q26.NPOと協力する場合に「NPOに期待する役割」は何ですか。(主なもの5つまで
選択可)

【n=9】



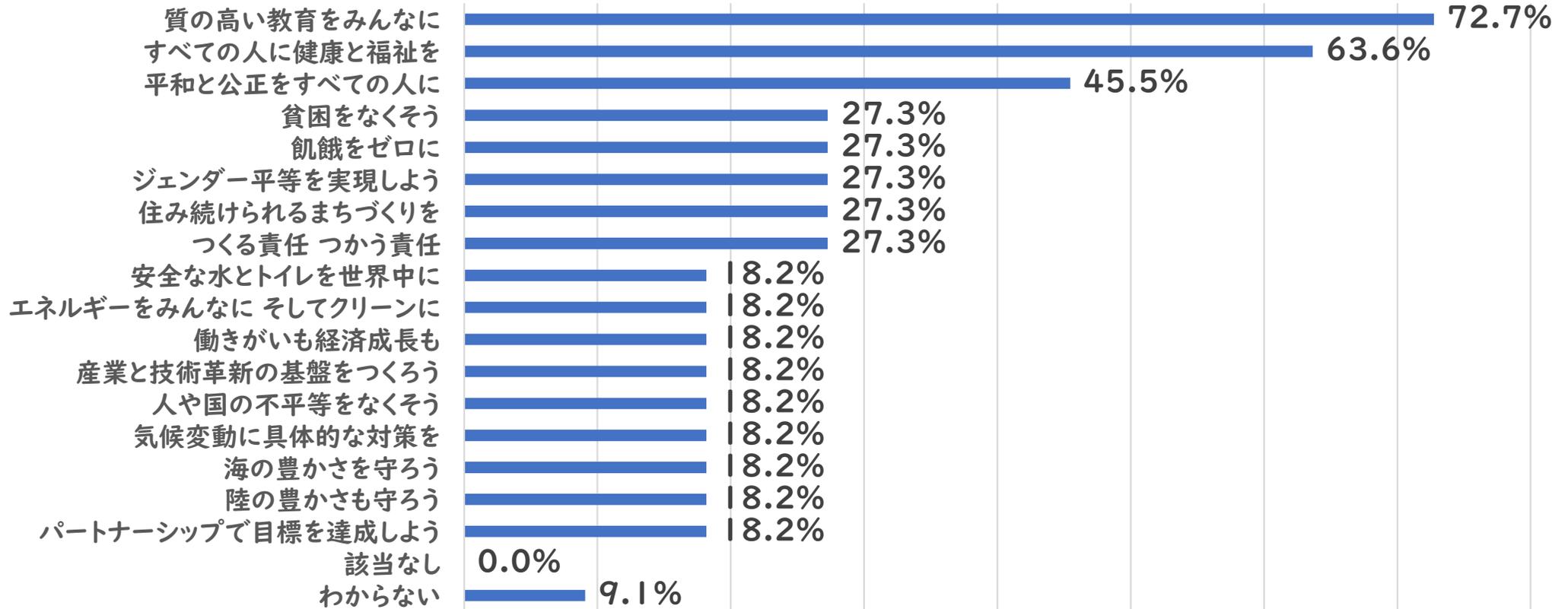
NPOに期待する役割は、「大学職員・学生をボランティアとして受け入れ」「地域社会の情報提供、地域社会との関係構築」が55.6%で最も多く、次いで「講師・専門家の派遣」が44.4%である。

大学

Q27. 貴学の理念と関係するSDGs (持続可能な開発目標) のゴールはどれですか。
(複数選択可)

【n=11】

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%

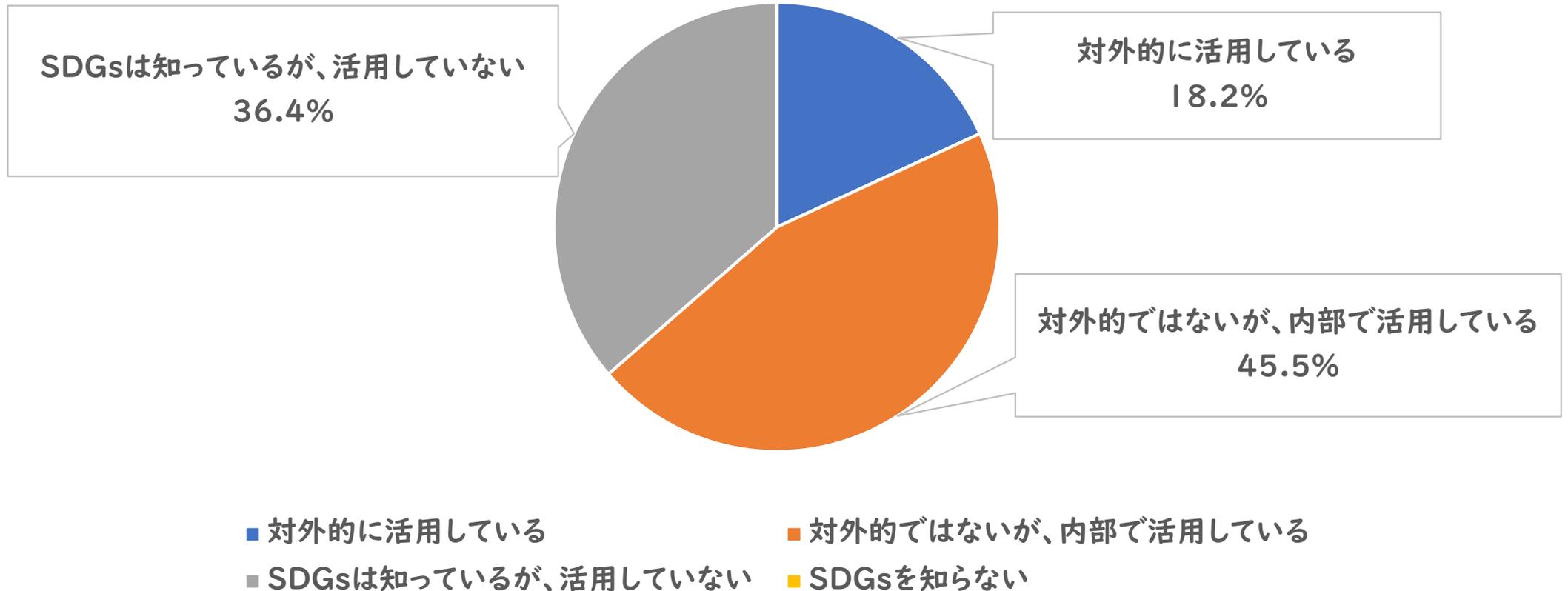


大学の理念と関係するSDGsのゴールは、「質の高い教育をみんなに」が72.7%で最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が63.6%、「平和と公正をすべての人に」が45.5%である。

大学

Q28. 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用していますか。(1つ選択)

【n=11】



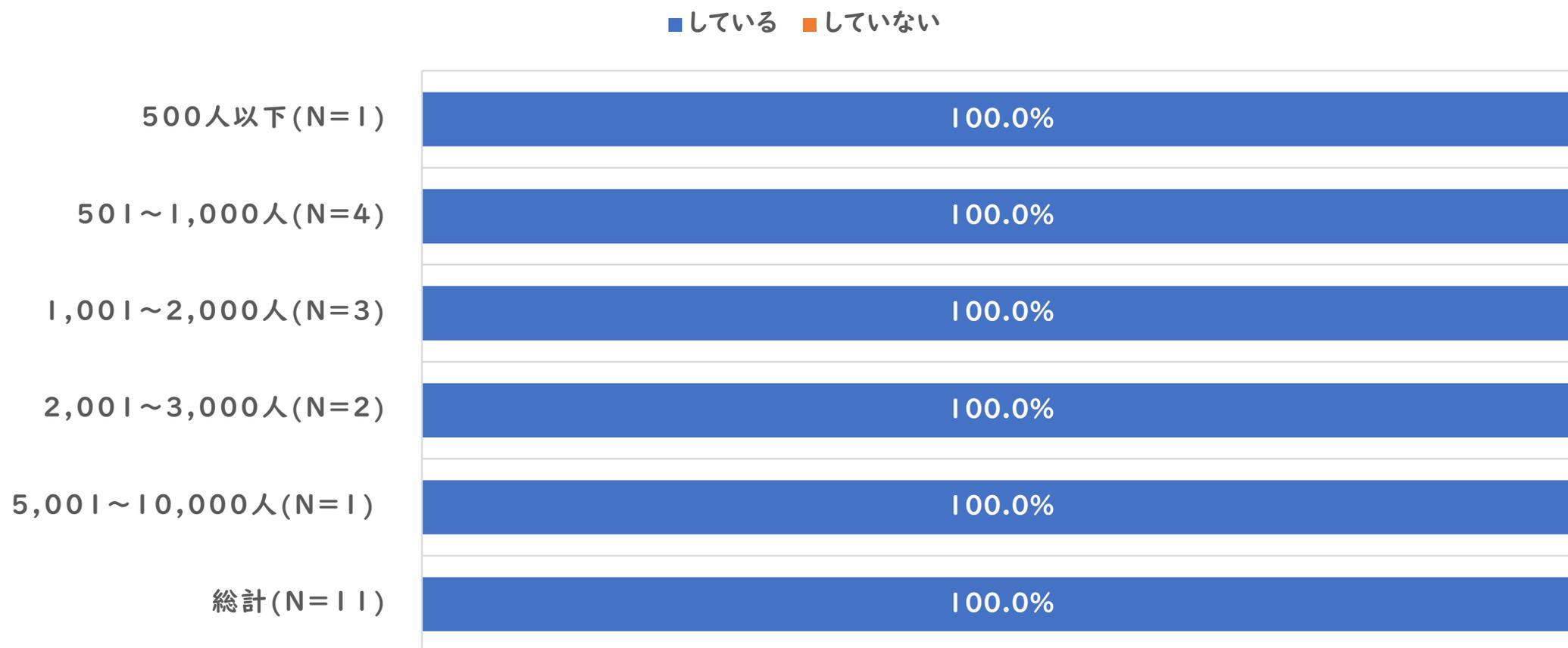
大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」は18.2%、「対外的ではないが、内部で活用している」は45.5%であり、「活用している」のは合わせて63.7%である。「SDGsを知らない」と回答した大学はない。

Ⅲ クロス分析

大学

1. 学生数 × 社会貢献活動・地域連携を実施しているか

【n=11】

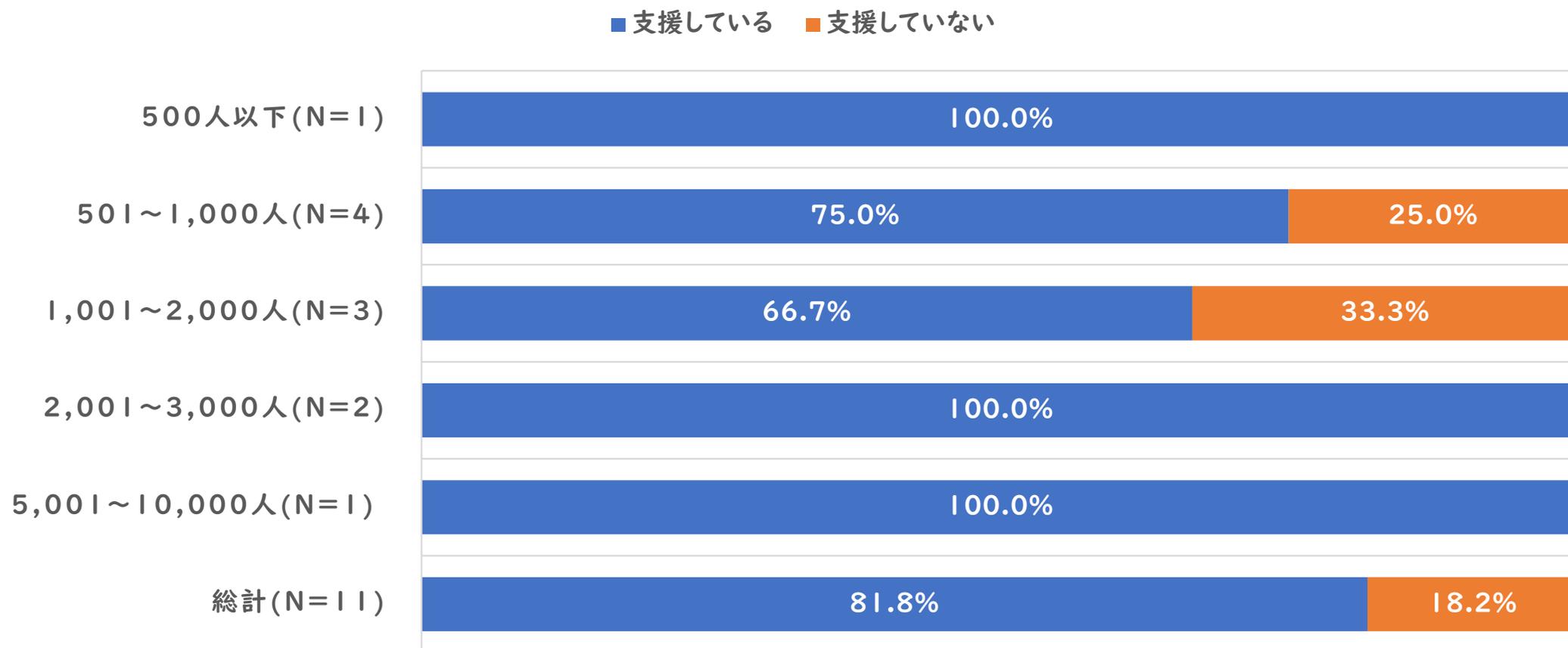


社会貢献活動・地域連携を「実施している」割合が100%である。

大学

2. 学生数 × 職員・学生が個人で行う社会貢献活動を支援していますか

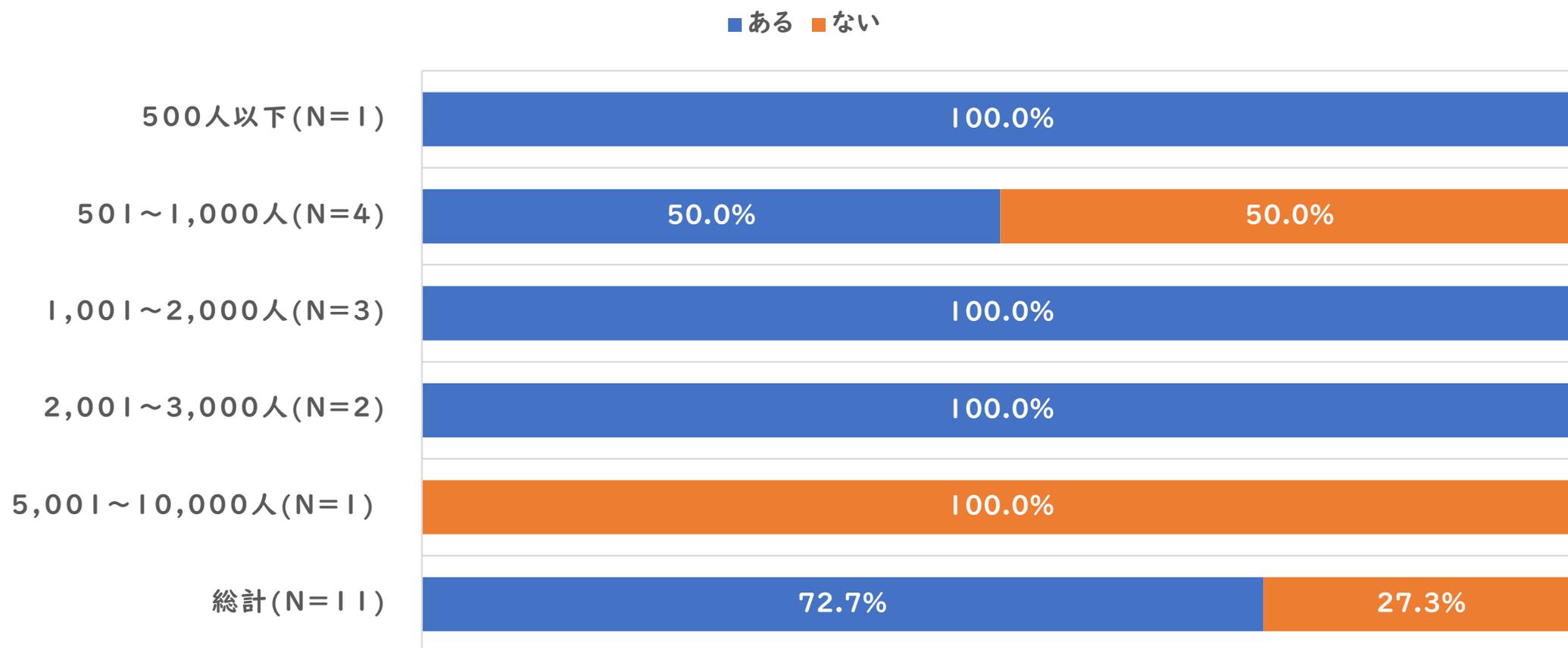
【n=11】



全体では、職員・学生が個人で行う社会貢献活動を「支援している」割合は81.8%であるが、学生数が「500人以下」「2,001人~3,000人」「5,001~10,000人」の大学は100%である。

大学

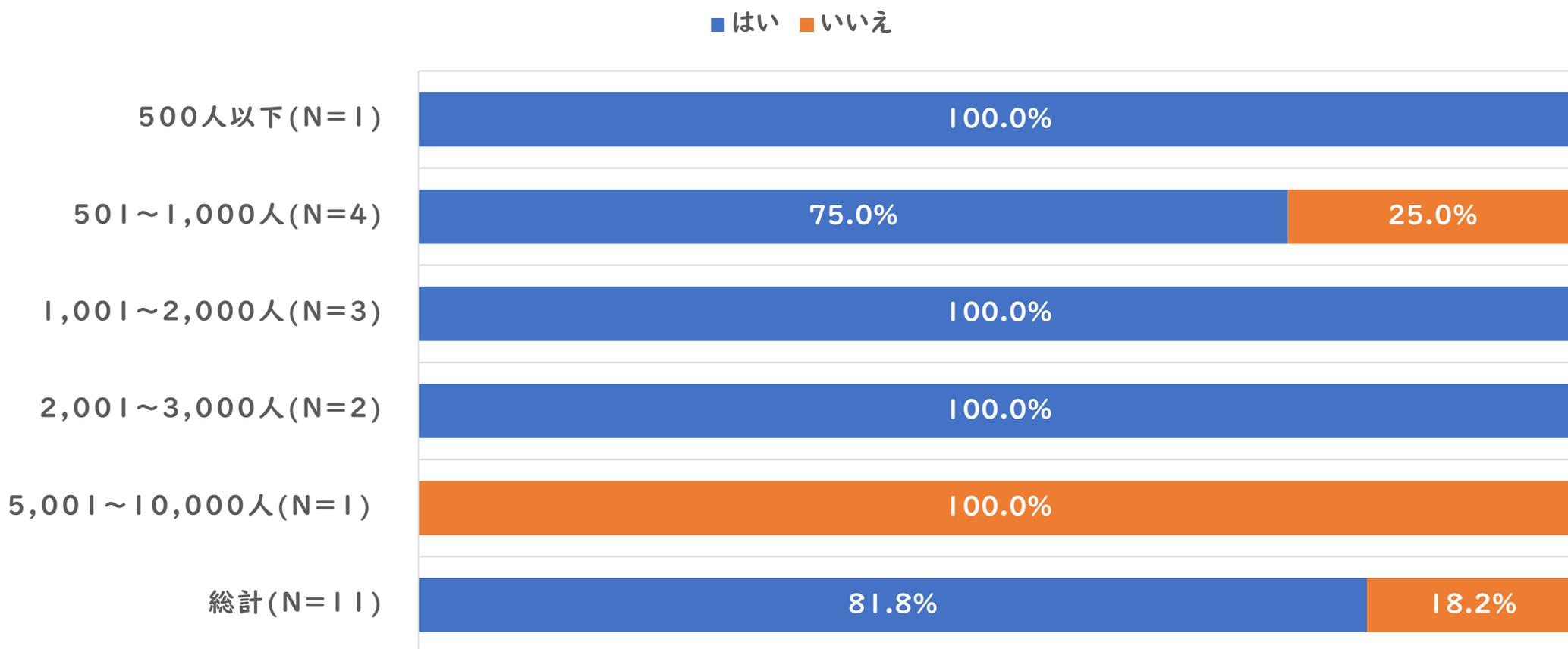
3. 学生数 × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか 【n=11】



全体では、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は72.7%であるが、学生数が「500人以下」「1,001~2,000人」「2,001~3,000人」の大学では100%である。

大学

4. 学生数 × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか 【n=11】

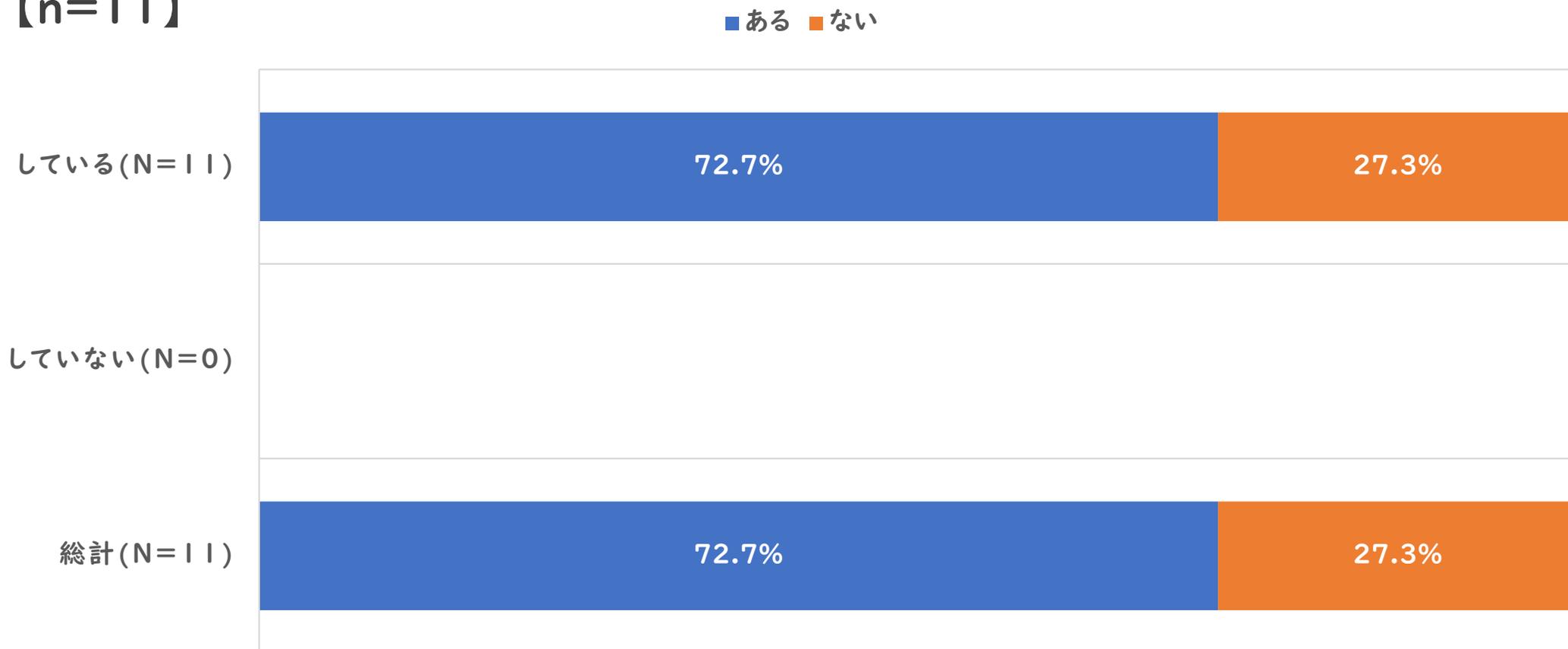


全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、「500人以下」「1,001~2,000人」「2,001~3,000人」の大学では100%である。

大学

5. 社会貢献活動・地域連携を実施しているか × 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか

【n=11】



全ての大学が社会貢献活動・地域連携を「実施している」と回答しているため、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」割合は全体の割合と同じ72.7%である。

大学

6. 社会貢献活動・地域連携を実施しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか

【n=11】



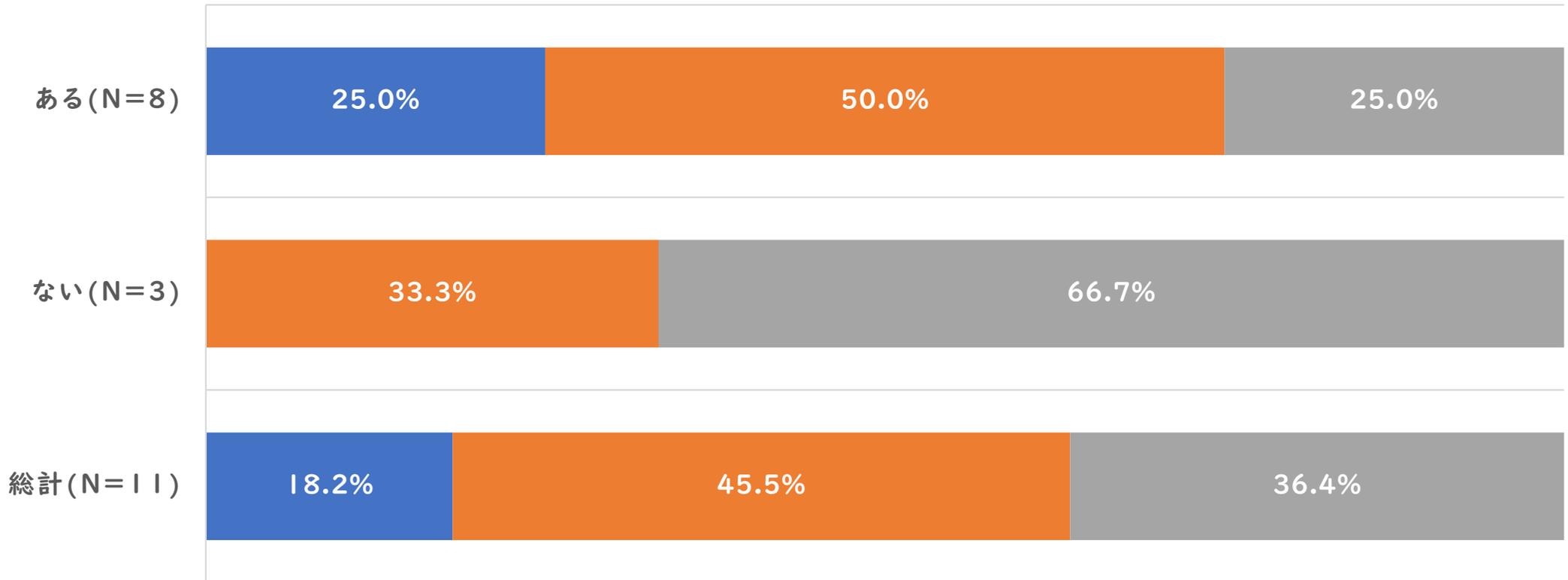
全ての大学が社会貢献活動・地域連携を「実施している」と回答しているため、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は全体の割合と同じ81.8%である。

大学

7. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか

【n=11】

■ よく知っている ■ ある程度知っている ■ よくわからない

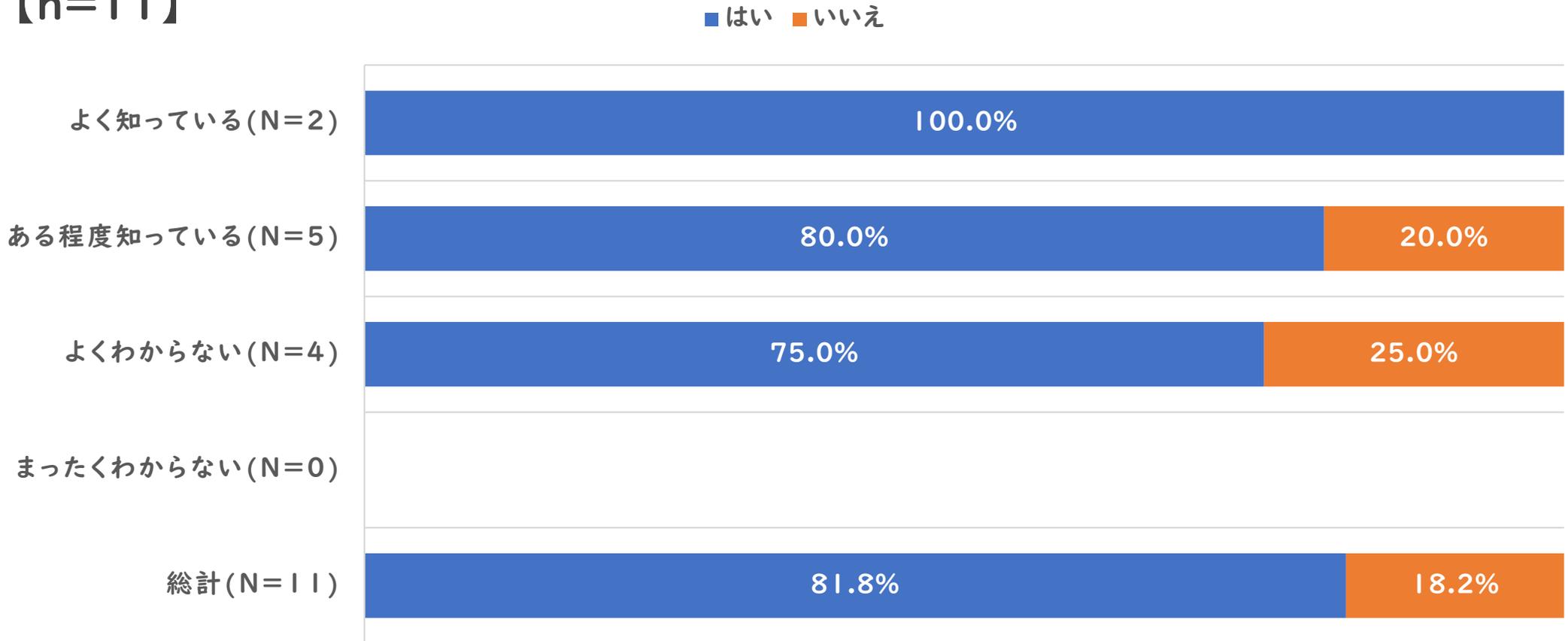


全体では、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」割合は18.2%、「ある程度知っている」は45.5%で、合わせて「知っている」が63.2%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では「よく知っている」が25.0%、「ある程度知っている」が50.0%で、合わせて「知っている」が75.0%で割合が高い。

大学

8. NPOの活動分野や活動内容等についてどのように認識しているか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか

【n=11】

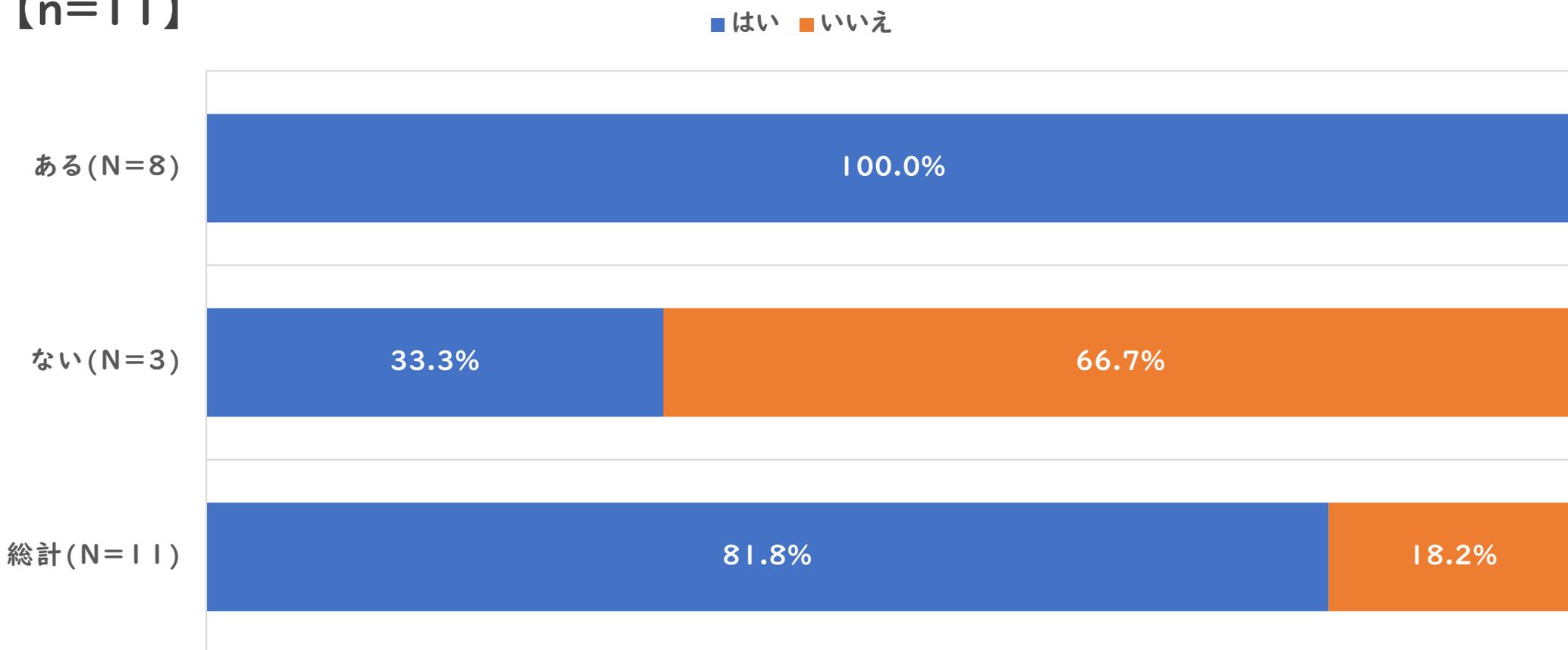


全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、NPOの活動分野や活動内容等について「よく知っている」大学では100%である。

大学

9. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか

【n=11】

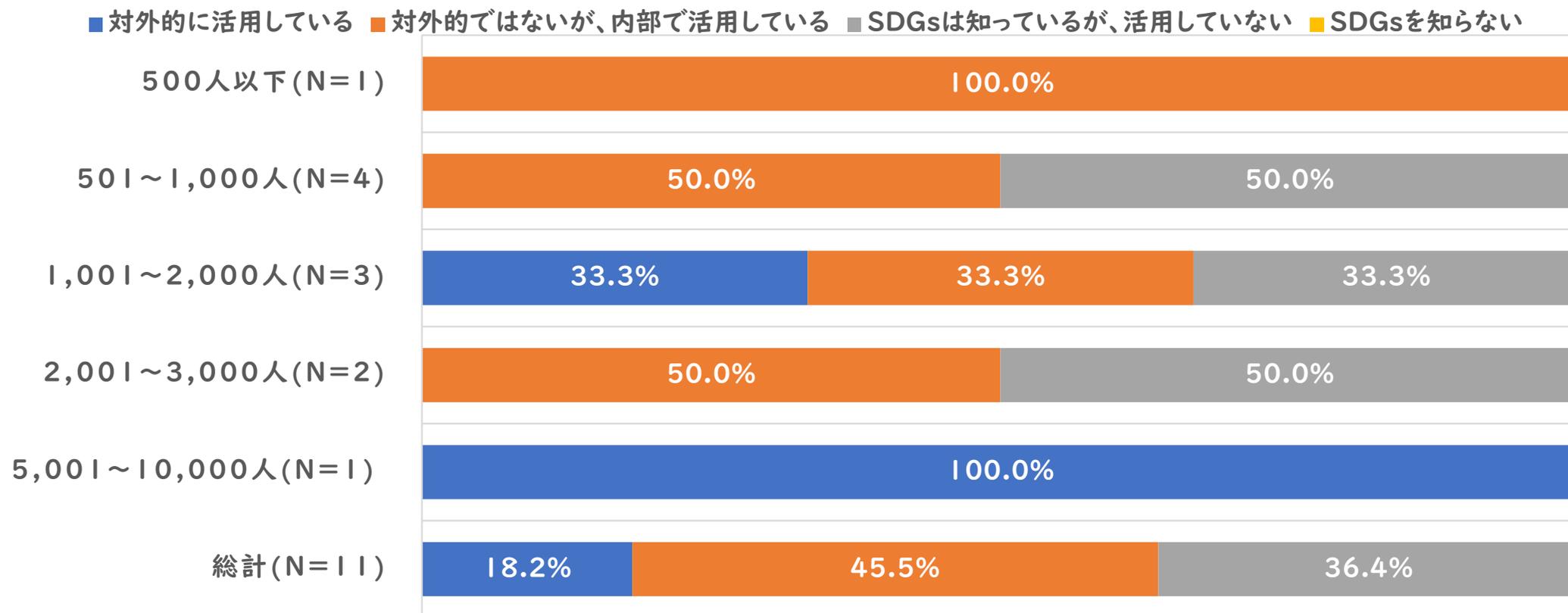


全体では、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」割合は81.8%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では100%である。

大学

10. 学生数 × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=11】

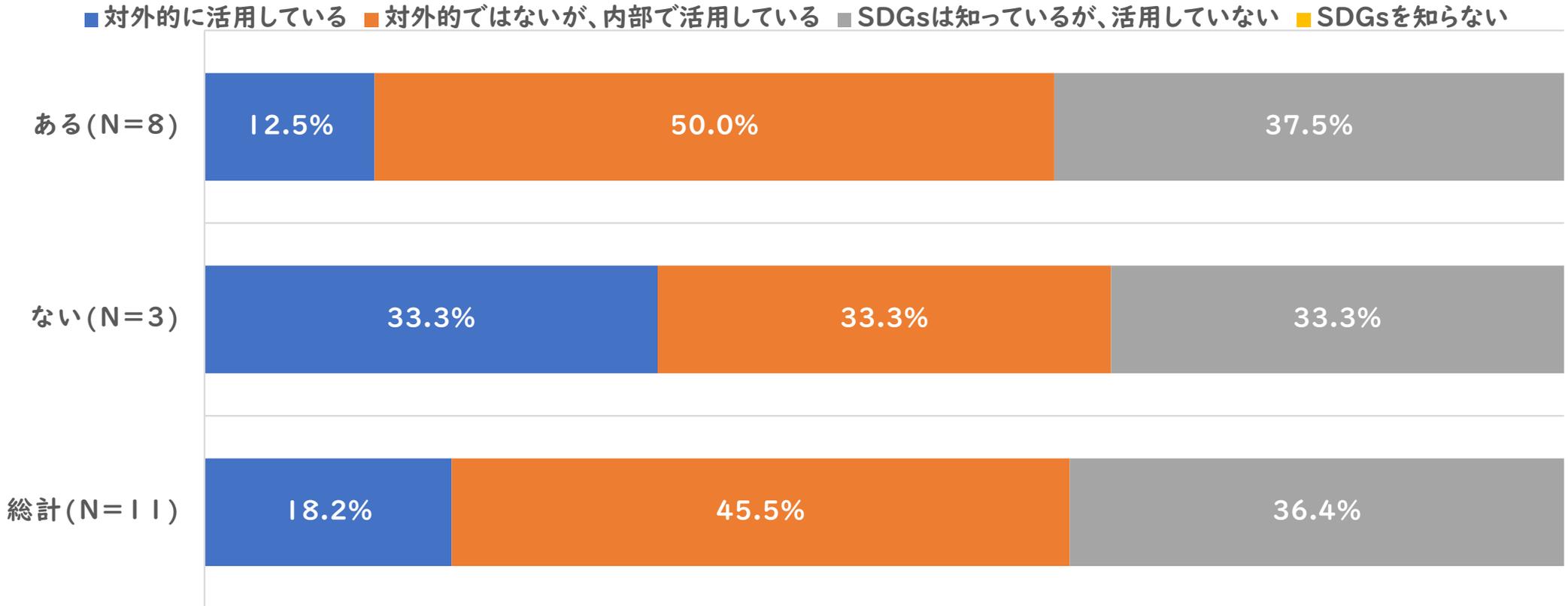


学生数の多少による傾向の違いは分からない。

大学

11. 過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことはあるか × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=11】

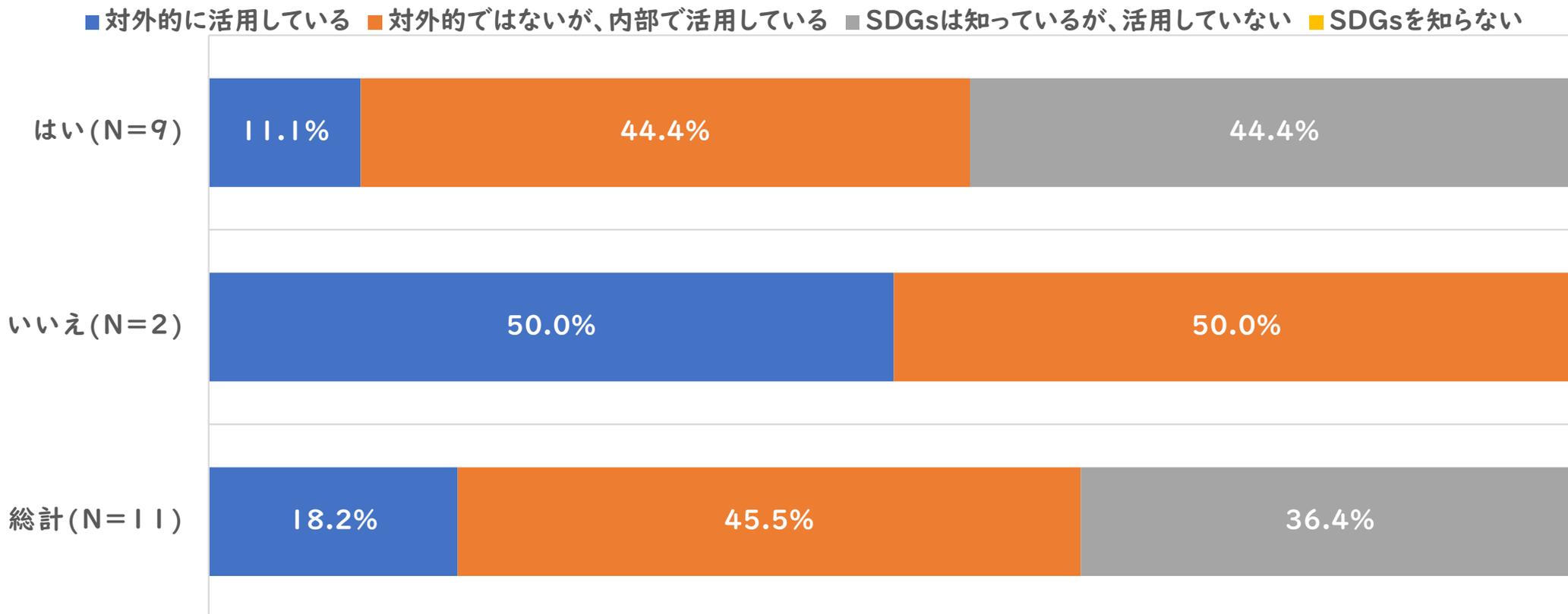


全体では、大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は18.2%であるが、過去3年間に群馬県内のNPOと協力して取り組んだことが「ある」大学では12.5%である。

大学

12. 今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを行いたいと思うか × 貴学の理念とSDGsを関連づけて、対外的な発信や事業実施に活用しているか

【n=11】



全体では、大学の理念とSDGsを関連づけて、「対外的な発信や事業実施に活用している」割合は18.2%であるが、今後、条件が整えば、NPOと協力した取り組みを「行いたい」大学では11.1%である。